DENON
取扱説明書

DVD-2800

DVD VIDEO PLAYER

DVD ビデオプレーヤー

安全にお使いいただくために—必ずお守りください。

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになった後は、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

目 次

1 使用上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

絵表示について　　この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

警 告

■ 安全上お守りいただきたいこと

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

電源プラグをコンセントから抜け

内部に異物を入れない

通風孔・ディスク挿入口・カセットテープ挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

水が入ったり、濡らしたりしないように

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。

電源コードは大切に

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

使用上のご注意（つづき）

⚠ 警 告 つづき

■ 安全上お守りいただきたいこと

キャビネット（裏ぶた）を外したり、改造したりしない
内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。
この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

ご使用は正しい電源電圧で
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

雷が鳴り出したら
電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

乾電池は充電しない
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

落としたり、キャビネットを破損した場合は
まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■ 取り扱いについて

風呂・シャワー室では使用しない
火災・感電の原因となります。

水場での使用禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器を置かない
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

この機器の上に小さな金属物を置かない
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注 意

■ 安全上お守りいただきたいこと

電源コードを熱器具に近付けない
コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは
電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

使用上のご注意（つづき）

⚠ 注 意 つづき

■ 安全上お守りいただきたいこと

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。

ディスク挿入口やカセットテープ挿入口に手を入れない
特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

指を挟まれないよう注意

レーザー光源をのぞき込まない
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

電池を交換する場合は
極性表示に注意し、表示通りに正しく入れてください。間違えますと電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。指定以外の電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

機器の接続は説明書をよく読んでから接続する
テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にする
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

■ 置き場所について

不安定な場所に置かない
ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

次のような場所には置かない
火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

壁や他の機器から少し離して設置する
壁から少し離して据え付けてください。また放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

使用上のご注意（つづき）

⚠ 注 意 つづき

■ 取り扱いについて

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いて使用する

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

移動させる場合は

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

この機器の上にテレビなどを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 使わないときは

長時間の外出・旅行の場合は

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■ お手入れについて

お手入れの際は

安全のため電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。

なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

2 取り扱い上のご注意

結露現象について

■ **結露とは**

冬期に暖房をした部屋の窓ガラスに水滴がつくような現象をいいます。

■ **結露が起こる条件は**

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、本機内部の動作部に露がつき正常に動作しなくなることがあります。
結露は夏にエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合には本機の設置場所を変えてください。

■ **結露後の処置は**

◎ 結露が起こった場合は、電源を入れてしばらく放置しておいてください。周囲の状況によって異なりますが、1〜2時間で使用できるようになります。

◎ ディスクに露がついている場合がありますので、きれいに拭き取ってください。

テレビ放送の画面にしま模様が入る場合

■ 本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、テレビ放送の電波状態によりしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。テレビ放送を見る場合には本機の電源を切ってご覧ください。

著作権について

■ ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

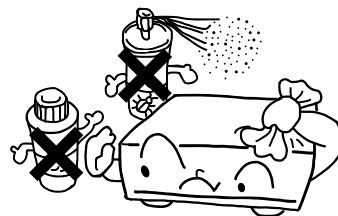
FMやAM放送を受信している場合

■ FMやAM放送を受信しているときに本機の電源が入っているとFMやAM放送の受信音に雑音が入る場合があります。本機を使用しないときは電源を切っておいてください。

お手入れについて

■ キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは柔らかい布を使用し、軽く拭き取ってください。

◎ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

使わないときは

■ **ふだん使わないとき**

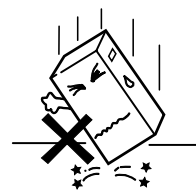
◎ 必ずディスクを取り出し、電源を切ってください。

◎ 外出やご旅行の場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

■ **移動させるとき**

◎ 床などを傷つける恐れがありますので、引きずらないでください。

◎ 衝撃を与えないでください。

◎ 必ずディスクを取り出し、
接続コードを外したことを確認してからおこなってください。

3 ディスクについて

★本機で再生できるディスクは下記の種類です。
　ディスクのマークはディスクのレーベル、またはジャケットについています。

再生できるディスク	マーク（ロゴ）	記録されているもの	ディスクの大きさ
DVDビデオ	DVD VIDEO	デジタル音声＋デジタル映像（MPEG2方式）	12cm
DVDオーディオ＜注1＞	DVD VIDEO		8cm
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	デジタル音声＋デジタル映像（MPEG1方式）	12cm / 8cm
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	デジタル音声 MP3	12cm
CD-R＜注2＞	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable		
CD-RW＜注2＞	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable		8cm

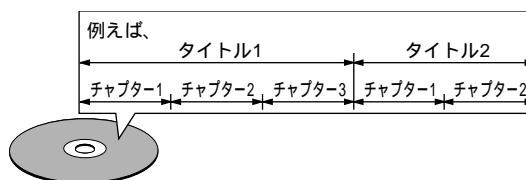
■ **下記のディスクは再生できません。**
- リージョン番号が『2』または『ALL』以外のDVD
- DVDオーディオ＜注1＞
- DVD-R/RW
- DVD-ROM/RAM
- CVD
- SVCD
- CD-ROM（MP3ファイルは再生可能）
- VSD
- CDV（**オーディオパートのみ再生できます。**）
- CD-G（**音声は出力されますが、画像は出力されません。**）
- フォトCD（**絶対に再生しないでください。**）

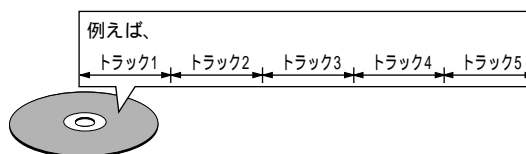
　など

※フォトCDについては、書き込まれているデータが破損する恐れがあります。

＜注1＞DVDオーディオディスクは、DVDビデオ規格のビデオパートのみ再生できます。
＜注2＞CD-R/RWは、記録状態によっては再生できない場合があります。

■ ディスクに関する用語について

- **タイトル、チャプター**（DVDビデオ）
  DVDビデオは、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）に分けられています。
  それぞれの区切りには番号が割り当てられ、これらの番号をタイトル番号、チャプター番号と呼びます。

- **トラック**（ビデオCD/音楽CD）
  ビデオCDや音楽CDは、いくつかの区切り（トラック）に分けられています。
  この区切りには番号が割り当てられ、この番号をトラック番号と呼びます。

例えば、
トラック1　トラック2　トラック3　トラック4　トラック5

- **プレイバックコントロール**（ビデオCD）
  『プレイバックコントロール付き』などとディスクやジャケットに書かれているビデオCDは、テレビに表示されるメニュー画面を見ながら見たい場面や情報を対話形式で楽しむことができます。
  本書では、メニュー画面を用いて再生することをビデオCDの『**メニュー再生**』と呼びます。
  本機はプレイバックコントロール付きビデオCDに対応しています。

ご注意

- 本機は、国ごとに割り当てられた番号（リージョン番号）がDVDディスクに表示されている場合には、DVDディスクと本機のリージョン番号が一致しないと再生できません。

4 本機の特長

1. “ Pure Progressive™ ” プログレッシブスキャン回路搭載<注1>
高精度なプログレッシブスキャン回路 “ Pure Progressive™ ” を搭載していますので、映画などのDVDソフトをオリジナルに近い映像で再現できます。

2. 12bit4：4：4ビデオD/Aコンバーターによる高画質
プログレッシブ映像ではオーバーサンプリングをおこなうとともに、輝度信号用として12bit処理の54MHz D/Aコンバーターを使用しており、DVD本来の美しい映像を満喫できます。

3. 洗練されたデザインと高剛性シャーシ
大型アルミパネルと板厚鋼板を使い、高い剛性と洗練されたデザインを両立しています。

4. CD-R/RW再生対応<注2>
新しい録音用メディアのCD-RとCD-RWの再生も可能になりました。

5. 高精度96kHz-24bit D/Aコンバーター搭載
24bitのハイクオリティーデータを忠実にD/A変換するために、24bit D/Aコンバーターを採用しています。これにより、S/N・ダイナミックレンジ・歪みなどのオーディオ性能をさらに引き出すとともに、ハイビット/ハイサンプリング化による高音質を十分に堪能できます。

6. ドルビーデジタルビットストリーム出力対応<注3>
ドルビーデジタルのビットストリーム出力に対応しています。ドルビーデジタルのデコーダーに接続することにより、音の立体感や定位が極めて自然に表現され、あたかも映画館やホールにいるような臨場感がお楽しみいただけます。

7. DTSビットストリーム出力対応<注4>
DVDビデオの音声フォーマットのオプションである、DTSのビットストリーム出力に対応。市販のDTSデコーダーやDTSデコーダー内蔵のAVアンプを接続することで、DTSサウンドを楽しむことができます。

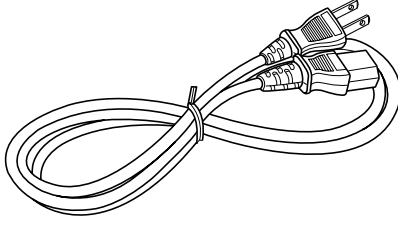
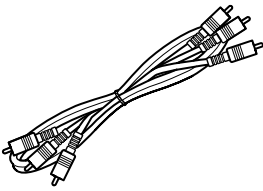
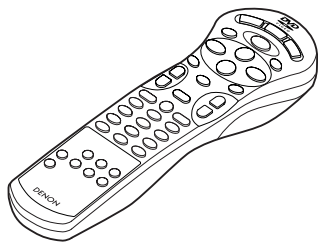
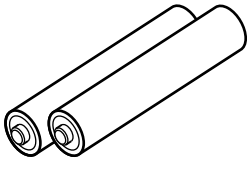
8. 多彩な機能

（1）マルチ音声機能
最大8ヶ国語の音声言語から、お好みの音声言語に切り替えて楽しむことができます。
（音声言語数はDVDソフトにより異なります。）

（2）マルチ字幕機能
最大32ヶ国語の字幕言語から、お好みの字幕言語に切り替えて楽しむことができます。
（字幕言語数はDVDソフトにより異なります。）

（3）マルチアングル機能
見たいアングル（角度）に変えて楽しむことができます。
（複数のアングルが記憶されているDVDソフトに限ります。）

（4）視聴制限機能
お子様などに見せたくないDVDソフトを再生できなくすることができます。

<注1>：Pure Progressiveはシリコンイメージ社の商標です。
<注2>：CD-R/RWは記録の状態によっては再生できない場合があります。
<注3>：ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
『ドルビー』、『Dolby』およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。
<注4>：『DTS』および『DTSデジタルサラウンド』はDTS社の商標です。

プログレッシブスキャンとは
従来のインターレース方式に比べて映像情報が倍になるため、画面のチラツキや輪郭のギザギザの少ないクリアな映像が得られます。

ビットストリームとは
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。デコーダーによって5.1chなどのマルチチャンネル音声にデコード（復号）されます。

5 付属品について

★本体とは別に下記の付属品がついています。ご使用の前にご確認ください。

電源コード 1本	オーディオビデオコード 1本	取扱説明書（本書） 1冊 製品のご相談と 修理・サービス窓口一覧表 1枚 保証書 （梱包箱に貼り付けられています）
リモコン（RC-546） 1個	単4乾電池 2本	

ご注意

●本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので、実物とは異なる場合があります。

6 保証とサービスについて

1 この商品には保証書が添付されております。
保証書は所定事項をお買い上げの販売店で記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。

2 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
万一故障した場合には、保証書の記載内容により、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口が修理を申し受けます。
但し、保証期間内でも保証書が添付されない場合は、有料修理となりますのでご注意ください。
詳しくは保証書をご覧ください。

※修理相談窓口については、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

3 保証期間後の修理については、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

4 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

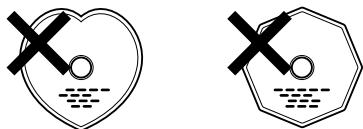
5 保証および修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理相談窓口にご相談ください。
※当社製品のお問い合わせについては、お客様相談窓口にご連絡ください。
詳しくは、付属品『製品のご相談と修理・サービス窓口一覧表』をご参照ください。

ステレオ音のエチケット

◎楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
◎隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
◎ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で小さくも大きくもなります。
◎特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。
◎窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
◎お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

7 ディスクの取り扱いとご注意

ディスクについて

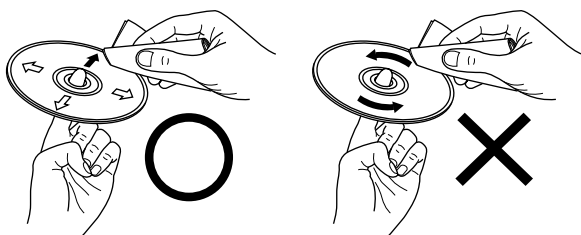
本機で再生できるディスクは、7ページにあるマークがついているものです。
但し、ハート形や八角形など特殊形状のディスクは再生できません。機器の故障の原因となりますのでご使用にならないでください。

ディスクの持ちかた

ディスクを装着したり取り出すときは、できるだけ表面を触らないようにしてください。

信号記録面（虹色に光っている面）には、指紋などをつけないようにしてください。

ディスクのお手入れのしかた

■ ディスクに指紋や汚れが付いた場合、音質や画質が低下したり、途切れることがありますので、拭きとってからご使用ください。

■ 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。

内周から外周方向へ軽くふく。

円周に沿ってはふかない。

ご注意

- レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品も使用しないでください。

取り扱いについてのご注意

- 指紋・油・ゴミなどをつけないでください。
- 表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたりしないでください。
- 熱を加えないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと表面に水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- 再生後は必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所には置かないでください。
  1．直射日光が長時間当たるところ
  2．湿気・ほこりなどが多いところ
  3．暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクを装着する際のご注意

- ディスクは1枚だけ装着してください。2枚以上重ねて装着すると故障の原因となり、ディスクを傷つけることにもなります。
- 8cmディスクは、アダプターを使用せずに確実にディスクガイド（凹部）に合わせて装着してください。正しく装着しないとディスクが脱落しディスクトレイが開かなくなることがあります。
- ディスクトレイが引き込まれるときに指を挟まないようにご注意ください。
- ディスク以外のものをディスクトレイに載せないでください。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままDVDプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

8 接続のしかた

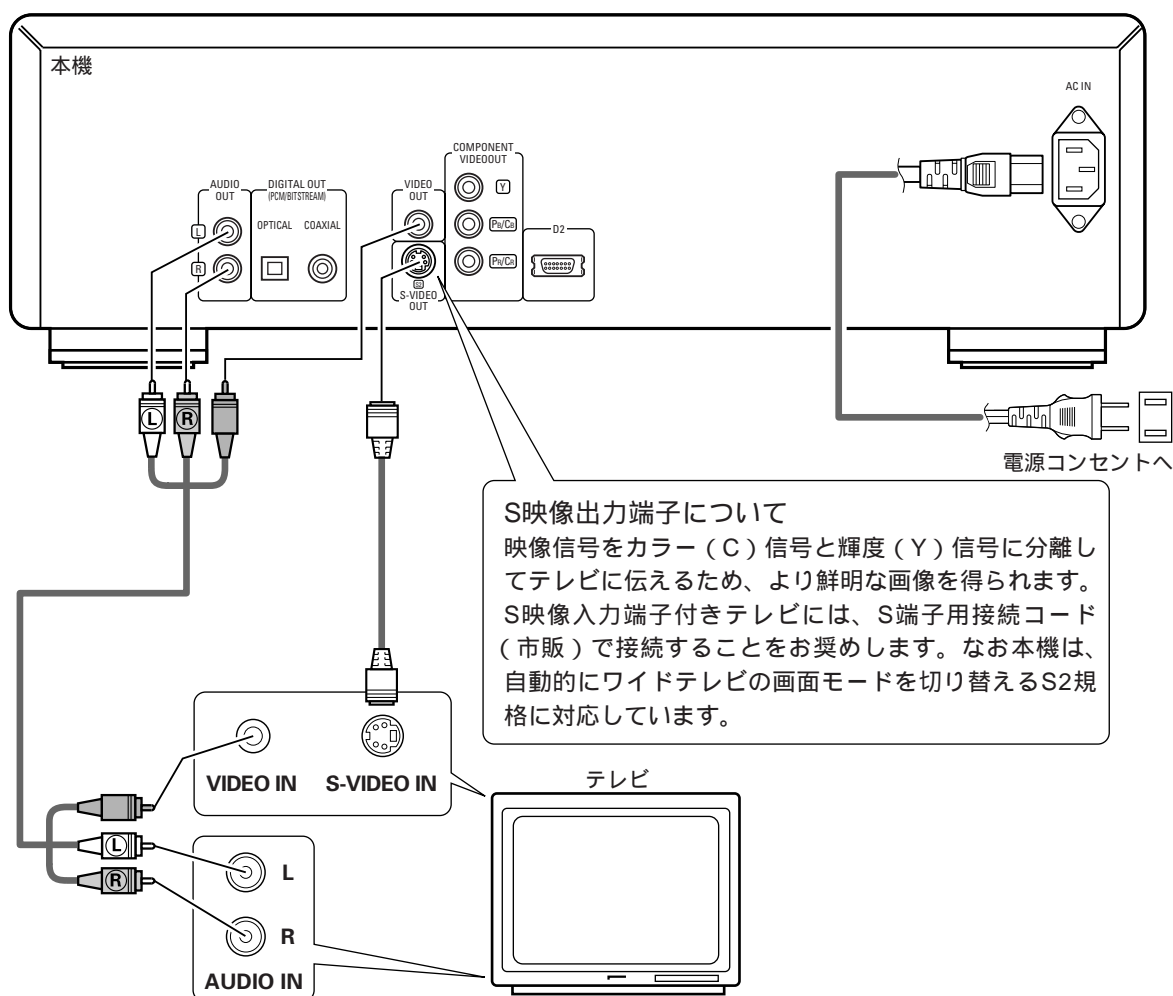
ご注意

- 接続の際は各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- すべての接続が終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 電源を入れたまま接続をおこなうと雑音が発生し、スピーカーを破損することがあります。
- 左右のチャンネルを確かめてから正しくLとL、RとRを接続してください。
- 電源プラグはしっかり差し込んでください。不完全な差し込みは雑音発生の原因となります。
- 電源コードと接続コードを一緒に束ねると、ハムや雑音の原因となることがあります。

(1)ワイドテレビ/AVテレビと接続する(S端子、コンポジット)

- 付属のオーディオビデオコードで、音声はテレビの音声入力端子と本機のAUDIO OUT端子を接続します。映像はテレビの映像入力端子と本機のVIDEO OUT端子またはS-VIDEO OUT端子を接続します。

S映像出力端子について

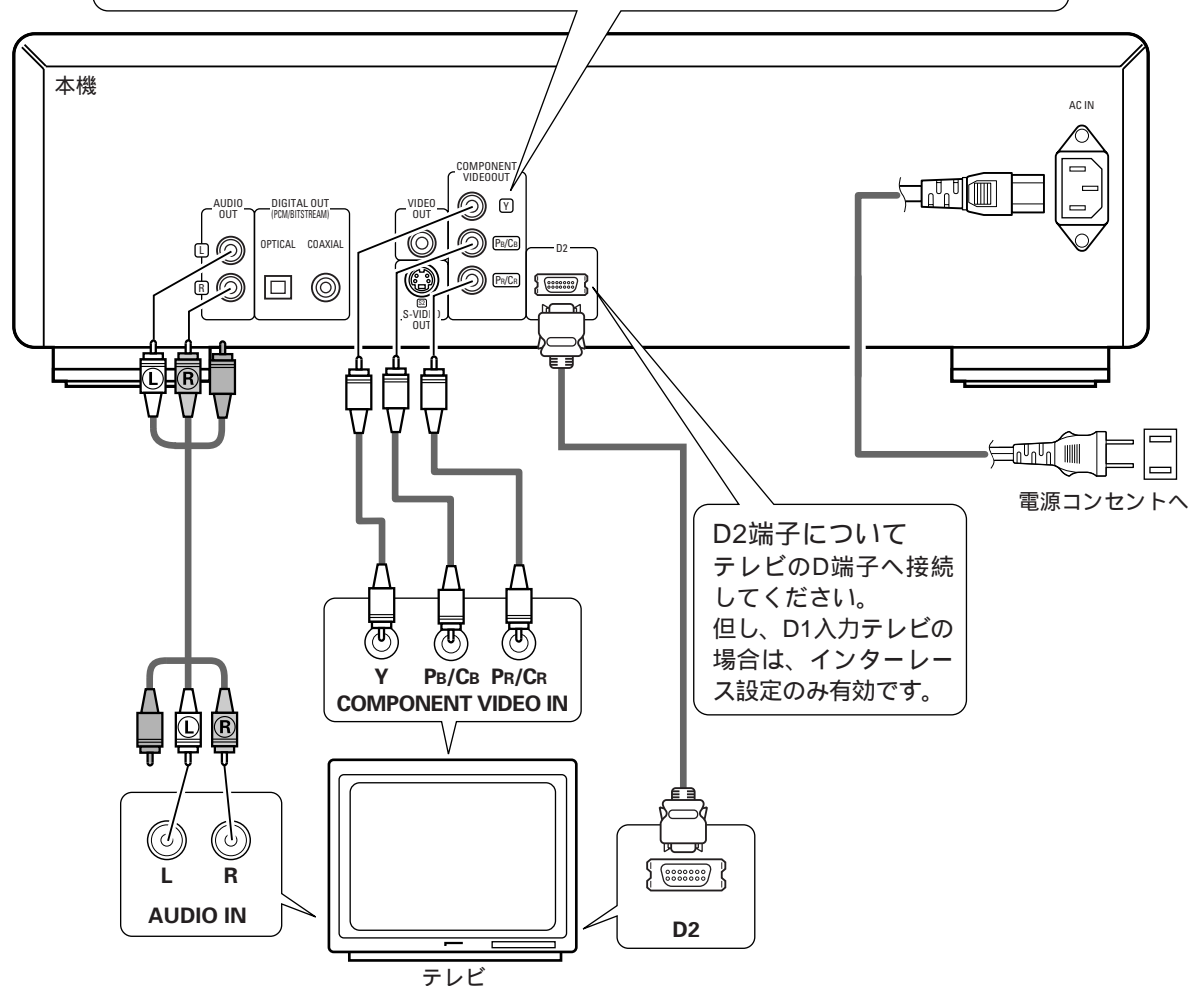
映像信号をカラー(C)信号と輝度(Y)信号に分離してテレビに伝えるため、より鮮明な画像を得られます。S映像入力端子付きテレビには、S端子用接続コード(市販)で接続することをお奨めします。なお本機は、自動的にワイドテレビの画面モードを切り替えるS2規格に対応しています。

ご注意

- 本機の映像出力は直接テレビに接続するか、AVアンプを経由してテレビに接続してください。VTR(ビデオテープレコーダー)経由で接続しないでください。
  (ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRを通して再生するとコピーガードシステムにより、画面が乱れることがあります。)
- 国内で使われているテレビはNTSC方式です。『初期設定』-『映像設定』の『TVタイプ』を『NTSC』に設定してください。(42、43ページ参照。なお、工場出荷時は『NTSC』に設定されています。)

（2）プログレッシブテレビ色差入力端子付きテレビ/モニターと接続する

色差映像出力端子（Y、PB/CB、PR/CR、）について

DVDに記録されたY信号、PB/CB信号、PR/CR信号がそのまま出力されるため、色をより忠実に再現します。

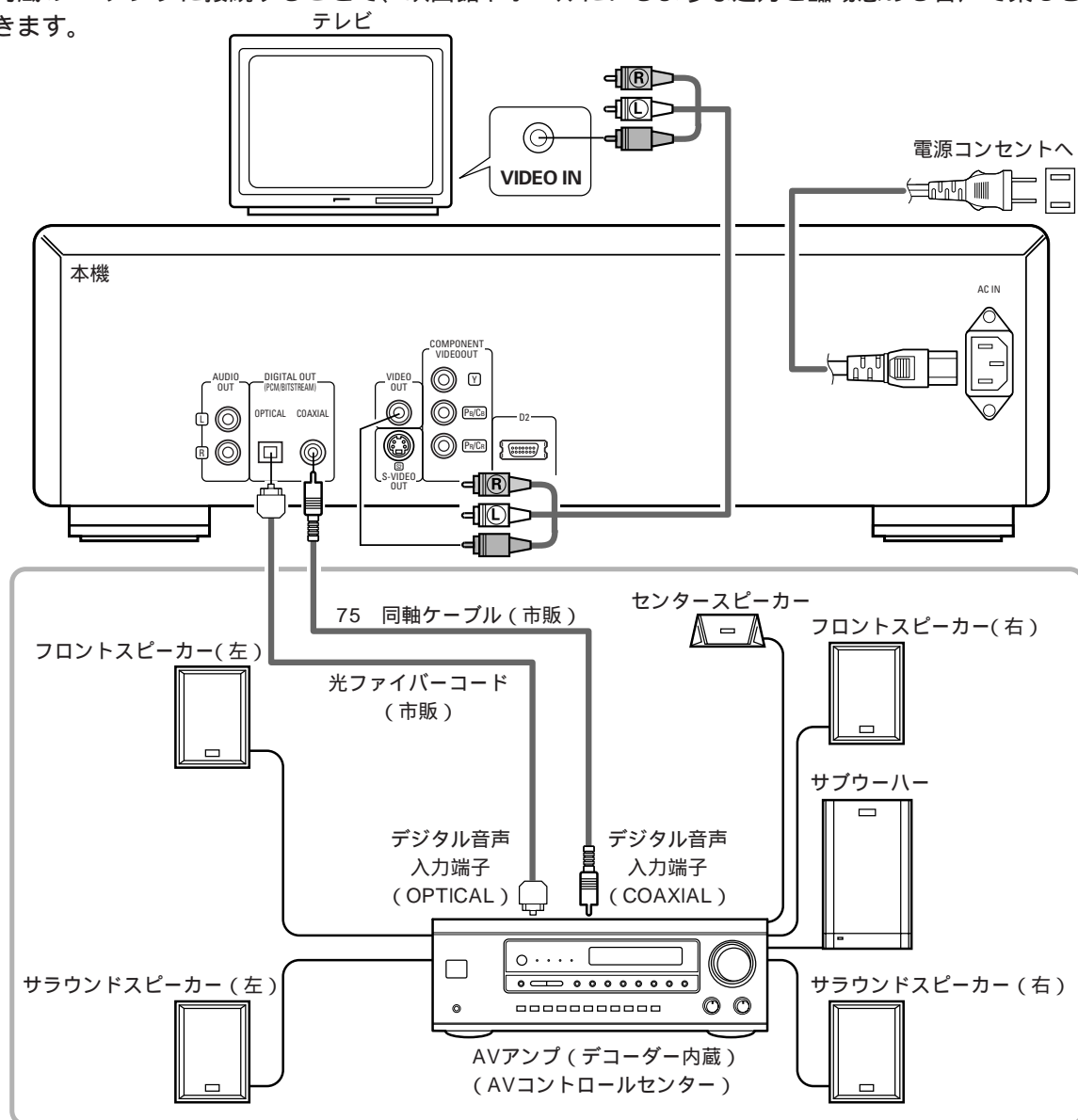
- テレビやモニターによって色差映像入力端子の表示が異なります。（PR、PB、Y/R-Y、B-Y、Y/CR、CB、Yなど）詳しくはテレビに付属の取扱説明書をよくお読みください。
- **お使いのテレビがプログレッシブスキャンに対応しているときは、このつなぎかたをしてください。**

ご注意

- 色差映像出力端子をテレビ/モニターに接続する場合は、市販のコードを使用してください。
- 国内で使われているテレビはNTSC方式です。『初期設定』-『映像設定』の『TVタイプ』を『NTSC』に設定してください。（42、43ページ参照。なお、工場出荷時は『NTSC』に設定されています。）
- プログレッシブ入力対応テレビを使用する場合には、『初期設定』-『映像設定』の『ビデオ出力』を『PROGRESSIVE』に設定してください。（NTSC方式のみ）（42、43ページ参照。なお、工場出荷時は『PROGRESSIVE』に設定されています。）
- 本DVDプレーヤーのプログレッシブ出力（525P）は、マクロビジョンコピーガード方式に対応しています。プログレッシブテレビによっては、本DVDプレーヤーのプログレッシブ出力に対応しておらず、映像に悪影響が生じる可能性があります。プログレッシブ映像出力においてこのような問題が起きた場合は、『初期設定』-『映像設定』の『ビデオ出力』を『INTERLACED』に切り替えてご使用ください。

（42、43ページ参照）

(3) デコーダー内蔵のAVアンプと接続する

★ ドルビーデジタルまたはDTSで収録されたDVDの再生時は、本機のデジタル音声出力端子からドルビーデジタルまたはDTSのビットストリームが出力されます。ドルビーデジタルデコーダーまたはDTSデコーダー内蔵のAVアンプに接続することで、映画館やホールにいるような迫力と臨場感ある音声で楽しむことができます。

テレビ
VIDEO IN
電源コンセントへ
本機
AC IN
AUDIO OUT
DIGITAL OUT (PCM/BITSTREAM)
OPTICAL
COAXIAL
VIDEO OUT
S-VIDEO OUT
COMPONENT VIDEOOUT
D2
75Ω同軸ケーブル（市販）
光ファイバーコード（市販）
センタースピーカー
フロントスピーカー（左）
フロントスピーカー（右）
サブウーハー
デジタル音声入力端子（OPTICAL）
デジタル音声入力端子（COAXIAL）
サラウンドスピーカー（左）
サラウンドスピーカー（右）
AVアンプ（デコーダー内蔵）（AVコントロールセンター）

ご注意

- DTSに対応していないAVアンプ（デコーダー）を使用する場合、DTSで収録されたDVDを再生すると耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。
- 国内で使われているテレビはNTSC方式です。『初期設定』-『映像設定』の『TVタイプ』を『NTSC』に設定してください。（42、43ページ参照。なお、工場出荷時は『NTSC』に設定されています。）

■ デジタル音声出力端子（OPTICAL）に光ファイバーコード（市販）を接続するときは

防塵キャップを外し、形状を合わせて奥までしっかりと差し込んでください。

ご注意

- 防塵キャップは紛失しないように保管し、端子を使わないときは、ほこりがつかないようにキャップを付けてください。

■ 本機のデジタル音声出力端子から出力される音声について

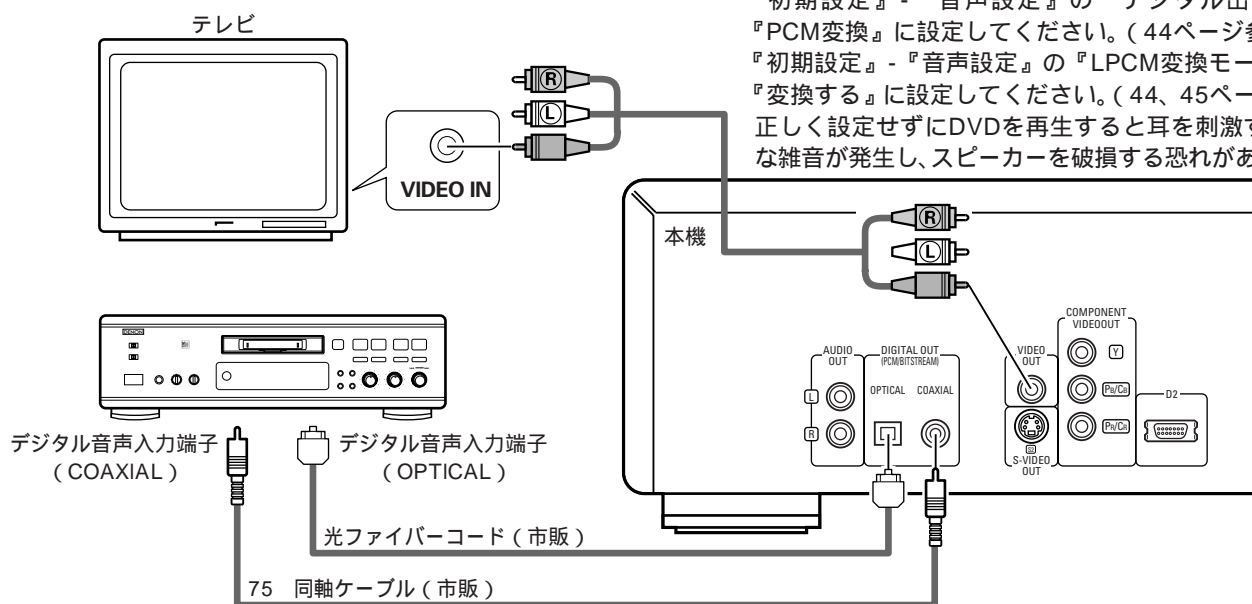
	音声記録方式		設定	参照ページ	出力されるデジタル音声データ
DVDビデオ	ドルビーデジタル		デジタル出力：ノーマル	44ページ	ドルビーデジタルのビットストリーム
			デジタル出力：PCM変換		2チャンネルPCMデータ（48kHz/16bit）
	DTS		デジタル出力：ノーマル		DTSのビットストリーム
			デジタル出力：PCM変換		DTSのビットストリーム
	リニアPCM	48kHz	LPCM変換モード：変換しない	45ページ	48kHz/16〜24bit PCM
			LPCM変換モード：変換する		48kHz/16bit PCM
		96kHz	LPCM変換モード：変換する		48kHz/16bit PCM
		CPオン	LPCM変換モード：変換しない		出力データなし（コピープロテクト有りの場合）
		CPオフ	LPCM変換モード：変換しない		96kHz PCM（コピープロテクト無しの場合）
ビデオCD	MPEG1				44.1kHz/16bit PCM
音楽CD	リニアPCM				44.1kHz/16bit PCM
MP3 CD	MP3				32〜48kHz/16bit PCM

＊デジタル出力がオフのとき、デジタル音声出力端子からはデジタル音声データが出力されません。

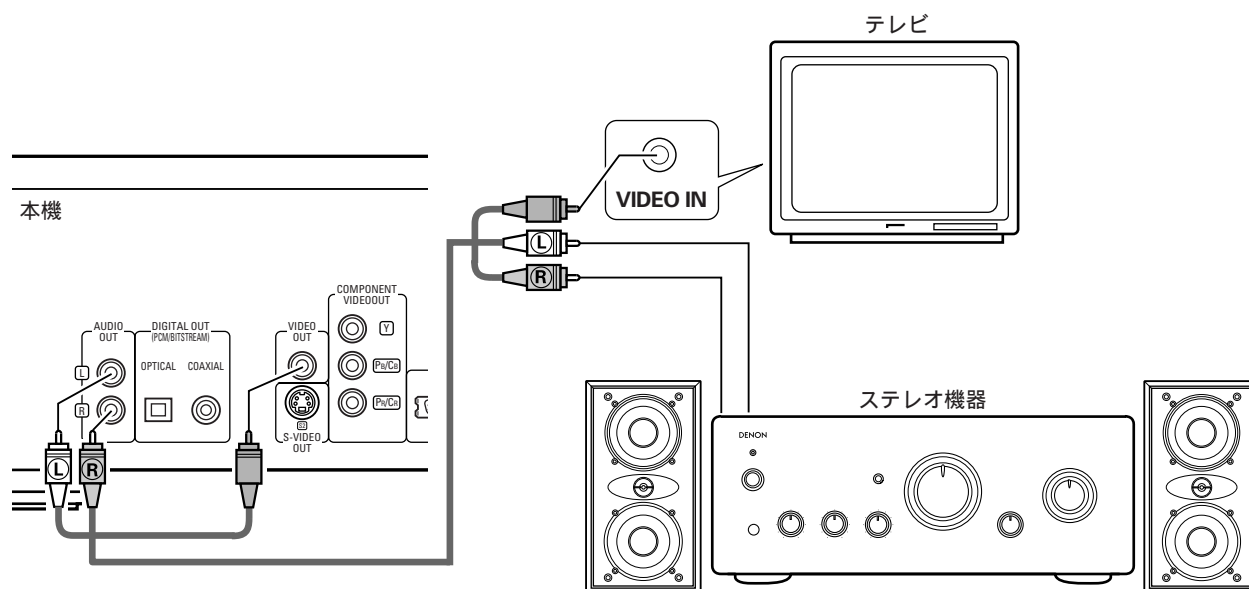
リニアPCM（LPCM）とは

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。（音楽CDに用いられている信号記録方式です。）
音楽CDでは44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは48kHz/16bit〜96kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

(4) MDレコーダーやDATデッキなどのデジタル録音機器と接続する

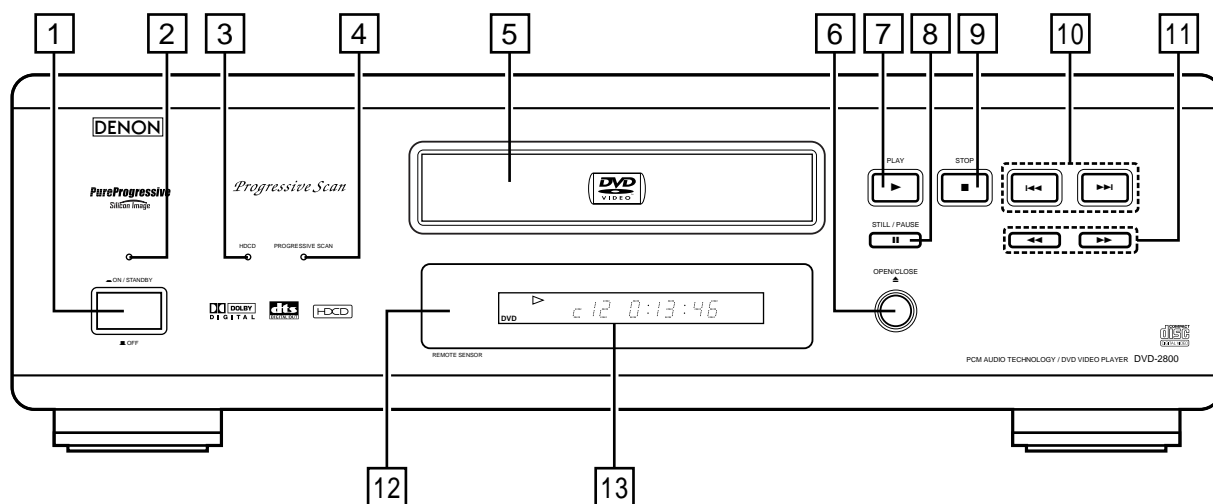
※**『初期設定』-『音声設定』の『デジタル出力』を『PCM変換』に設定してください。**（44ページ参照）
※**『初期設定』-『音声設定』の『LPCM変換モード』を『変換する』に設定してください。**（44、45ページ参照）
正しく設定せずにDVDを再生すると耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

ご注意

- 本機でCDを再生し、接続した機器でデジタル録音をする場合、曲番が自動的に付加されない場合があります。
  - ・MDレコーダーでデジタル録音する場合、録音が終わった後で編集操作により曲を分割してください。
  - ・CDレコーダーでデジタル録音する場合、CDレコーダーの録音の設定をマニュアル（手動）録音にし、録音中に手動で曲番（トラックマーク）を付けてください。
- 国内で使われているテレビはNTSC方式です。『初期設定』-『映像設定』の『TVタイプ』を『NTSC』に設定してください。（42、43ページ参照。なお、工場出荷時は『NTSC』に設定されています。）

(5) ステレオ機器と接続する

ご注意

- 国内で使われているテレビはNTSC方式です。『初期設定』-『映像設定』の『TVタイプ』を『NTSC』に設定してください。（42、43ページ参照。なお、工場出荷時は『NTSC』に設定されています。）

9 各部の名前とはたらき

(1) フロントパネル

1 電源ボタン

- 押すと電源が入ります。
- もう一度押して『OFF』すると電源が切れます。
- スタンバイ状態にするときは、電源が『ON』の状態で、リモコンのPOWERボタンを押してください。
- スタンバイ状態から電源を『ON』するときは、リモコンのPOWERボタンを押してください。

2 電源表示インジケーター

- 電源が『ON』またはスタンバイ状態のときに点灯します。

3 HDCD表示インジケーター（HDCD）

- HDCD®フォーマットで記憶されたディスクを再生すると点灯します。**<注1>**

4 プログレッシブスキャンインジケーター（PROGRESSIVE SCAN）

- 映像出力でプログレッシブが選択されているときに点灯します。

5 ディスクトレイ

- ディスクを装着するところです。（10ページ参照）
- 開閉するときは、6 OPEN/CLOSEボタンを押してください。
- 7 再生ボタンを押しても閉じます。

6 OPEN/CLOSEボタン（▲ OPEN/CLOSE）

- ディスクトレイを開閉させるときに押します。（21ページ参照）

7 再生ボタン（▶ PLAY）

- ディスクを再生するときに押します。（22ページ参照）

8 一時停止ボタン（❚❚ STILL/PAUSE）

- 映像や音楽を一時的に止めたり、コマ送り再生するときに押します。（24、25ページ参照）

9 停止ボタン（■ STOP）

- ディスク再生を停止させるときに押します。（23ページ参照）

10 スキップボタン（I◀◀）

- 再生中のトラック（チャプター）の頭出しをします。
- さらに押すとひとつ前のトラック（チャプター）の頭出しをします。

スキップボタン（▶▶I）

- 次のトラック（チャプター）の頭出しをします。（24ページ参照）

11 スロー/サーチボタン（◀◀, ▶▶）

- 早送り/早戻しするときに押します。
- 一時停止しているときに押すとスロー再生します。（24、25ページ参照）

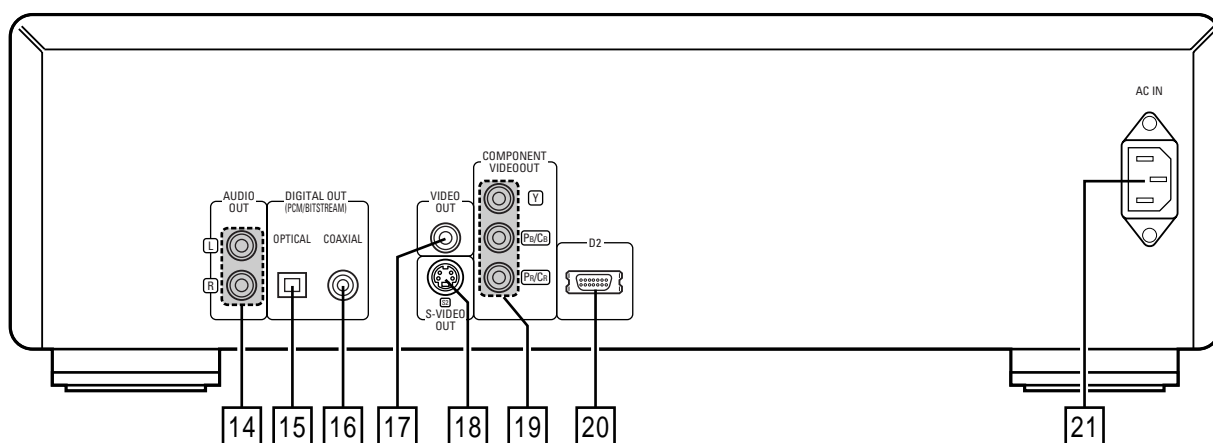
12 リモコンセンサー

13 ディスプレイ

- ディスプレイに再生中のディスク情報を表示します。（18ページ参照）

各部の名前とはたらき（つづき）

＜注1＞： [HDCD] ®,HDCD®, High Definition Compactible Digital®およびPacific Microsonics™は、米国内や他の国におけるパシフィック・マイクロソニック社の登録商標または商標です。HDCDシステムはパシフィック・マイクロソニック社からのライセンスに基づき製造されています。この製品は下記の1つ以上の特許によって保護されています。米国内：5,479,168、5,683,074、5,640,161、5,808,574、5,838,574、5,838,274、5,854,600、5,864,311、5,872,531。オーストラリア国内：669114。その他の特許は出願中。
[HDCD] ®,HDCD®, High Definition Compatible Digital® and Pacific Microsonics™ are either registered trademarks or trademarks of Pacific Microsonics, Inc. in the United States and/or other countries. HDCD system manufactured under license from Pacific Microsonics, Inc. This product is covered by one or more of the following: In the USA: 5,479,168, 5,683,074, 5,640,161, 5,808,574, 5,838,274, 5,854,600, 5,864,311, 5,872,531, and in Australia: 669114. Other patents pending.

(2) リアパネル

14 アナログ音声出力端子（AUDIO OUT）

- 付属のオーディオビデオコードを接続します。
- アンプの入力端子などに接続すると本機の音声をアンプを通してスピーカーで聞くことができます。

15 デジタル音声出力端子（OPTICAL）

- 光ファイバーコード（市販）を接続します。
- デジタル音声信号を出力します。
- 接続できるコードは、市販のEIAJ規格の光ファイバーコードです。

16 デジタル音声出力端子（COAXIAL）

- 市販の75Ω同軸ケーブルを接続します。
- デジタル音声信号を出力します。
- 接続できるコードは、市販のEIAJ規格の75Ω同軸ケーブルです。

17 映像出力端子（VIDEO OUT）

- 付属のオーディオビデオコードを接続します。

18 S映像出力端子（S-VIDEO OUT）

- S端子用接続コード（市販）を接続します。

19 色差映像出力端子（COMPONENT VIDEO OUT）

- ビデオコード（市販）を接続します。

20 D2端子（D2）

- D端子接続コード（市販）を接続します。

21 電源入力コネクター（AC IN）

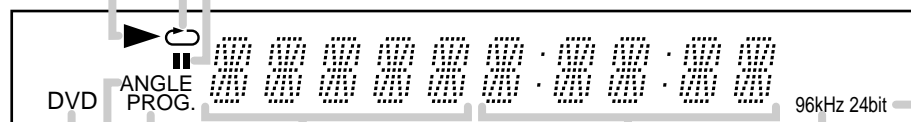
- 付属の電源コードを接続します。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。

ご注意

- 電源入力コネクターのアース端子（GND）は接続されておりません。

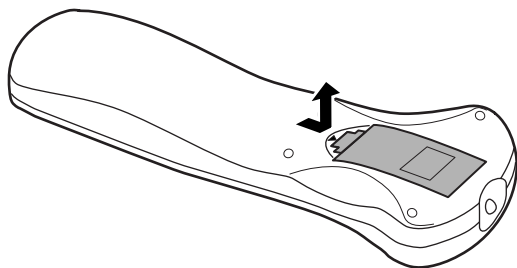
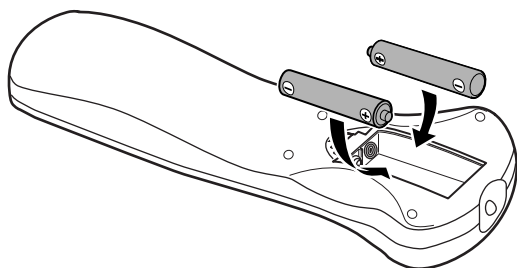
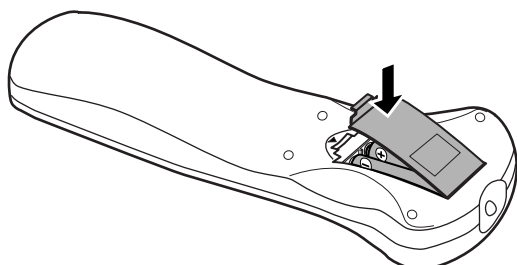
※EIAJ規格：（社）電子情報技術産業協会（略称JEITA）が制定した規格です。

(3) ディスプレイ

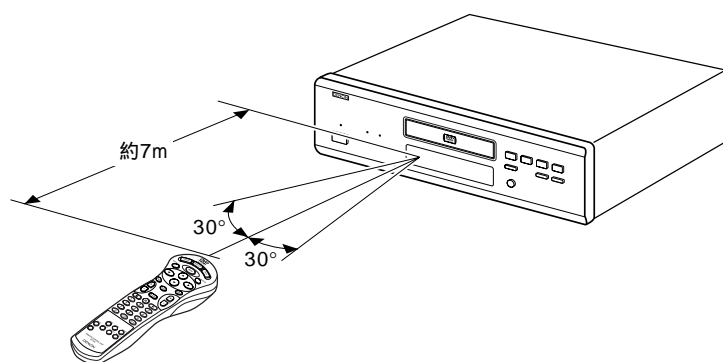
再生中に点灯し、続き再生メモリー機能が働いているときに点滅します。
リピート再生中に点灯します。
一時停止中に点灯します。
DVD
ANGLE
PROG.
96kHz 24bit
24bitリニアPCM音声を再生中に点灯します。
96kHzサンプリング周波数のリニアPCM音声を再生中に点灯します。
再生中、タイトル/トラックの経過時間を表示します。
DVDはタイトル/チャプター番号を、ビデオCDや音楽CDはトラック番号を表示します。
プログラム再生中に点灯します。
複数のアングルが記録されているディスクを再生しているときに点灯します。
DVDがディスクトレイに入っているときに点灯します。

10 リモコンについて

★ 付属のリモコン（RC-546）を使うと離れたところから本機をコントロールすることができます。

(1) 乾電池の入れかた

① リモコンの裏ぶたを外してください。

② 単4乾電池（2本）をそれぞれ乾電池収納部の表示通りに入れてください。

③ 裏ぶたを元通りにしてください。

乾電池についてのご注意

- リモコンには単4乾電池をご使用ください。
- リモコンの使用回数にもよりますが、乾電池は約1年毎に新しいものと交換してください。
- 1年経っていなくても、リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。
- 付属の乾電池は動作確認用です。速めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池を入れるときは、リモコンの乾電池収納部の表示通りに⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入したりしないでください。
- リモコンを長時間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときには、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

(2) リモコンの使いかた

- リモコンは、図のようにリモコン受光部に向けてご使用ください。
- 直線距離では約7m離れたところまで使用できますが、障害物があったり、リモコン受光部に向いていないと受信距離は短くなります。
- リモコン受光部を基準にして左右30 ° までの範囲で操作できます。

ご注意

- リモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
- 本機とリモコンの操作ボタンを同時に操作しないでください。誤動作の原因になります。

リモコンについて（つづき）

(2) リモコンボタンの名前とはたらき

POWERボタン
電源をONまたはSTANDBYに切り替えます。

DISPLAYボタン
ON-SCREEN画面を表示します。

OPEN/CLOSEボタン
ディスクトレイを出し入れします。

TOP MENUボタン
ディスクに収録されているトップメニューを表示します。

MENUボタン
ディスクに収録されているDVDメニューを表示します。

カーソルボタン
上下方向の選択をする時には▲▼を押します。
左右方向の選択をする時には◄ ►を押します。

SUBTITLEボタン
DVDの字幕言語を切り替えます。

ANGLEボタン
アングル（角度）を切り替えます。

AUDIOボタン
DVDの場合は音声言語を切り替えます。または、ビデオCDの場合は『LR』、『L』、『R』を切り替えます。

ENTERボタン
カーソルボタンで選んだ項目を決定するときに押します。

SKIPボタン
映像や音楽の頭出しをします。
－：戻し方向
＋：送り方向

SLOW/SEARCHボタン
早送り/早戻しをしたり、スロー再生をします。
－：戻し方向
＋：送り方向

RETURNボタン
メニューを1つ手前に戻します。

STILL/PAUSEボタン
映像や音楽を一時的に止めたり、コマ送り再生します。

STOPボタン
映像や音楽の再生を止めます。

PLAYボタン

番号ボタン
数字を入力します。
10以上の数字を入力するときは、**+10ボタン**を使用します。
【例】25を入力するとき
+10 ⇒ +10 ⇒ 5

CLEARボタン
入力された数字を取り消します。

CALLボタン
プログラム内容を確認するときに押します。

PROGRAM/DIRECTボタン
プログラム演奏をおこなうときに押します。

RANDOMボタン
ランダム演奏をおこなうときに押します。

SET UPボタン
初期設定画面を表示します。

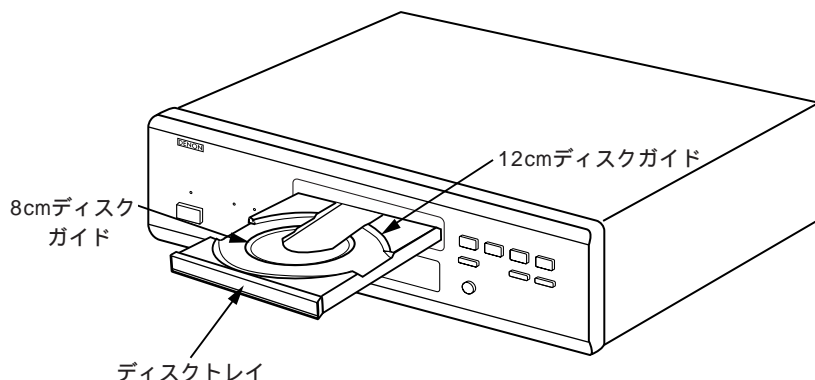
NTSC/PALボタン
本機のビデオ出力フォーマット（NTSC/PAL）を切り替えるときに使用します。

V.S.S.ボタン
バーチャルサラウンドサウンドを設定します。（ドルビーデジタル2ch以上で収録されたDVDの再生中に働きます。）

REPEATボタン
くり返し再生したいときに押します。

A-B REPEATボタン
指定した2点間をくり返し再生します。

11 ディスクの入れかた

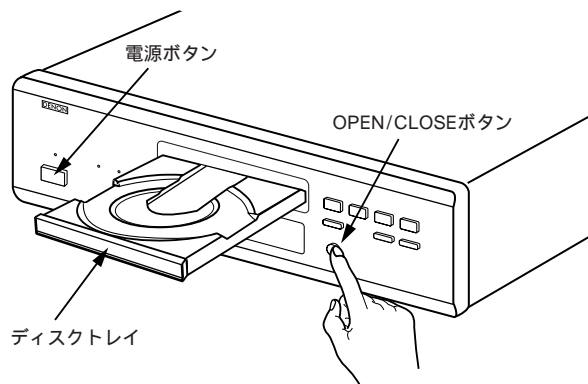
★ ディスクトレイにディスクを載せてください。

ご注意

● ディスクを再生中に本機を移動させないでください。ディスクに傷を付けてしまいます。

(1) ディスクトレイの開閉

① 電源を入れてください。
② OPEN/CLOSEボタンを押してください。

ご注意

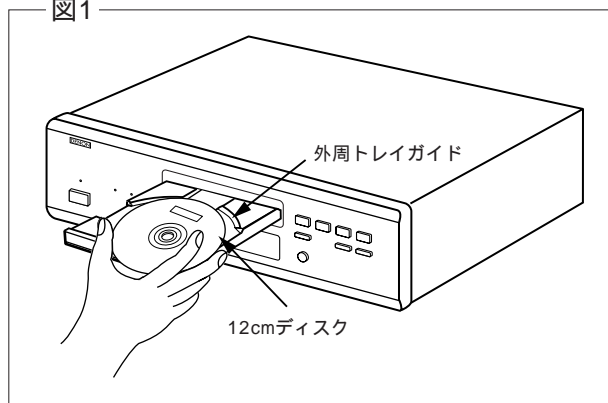
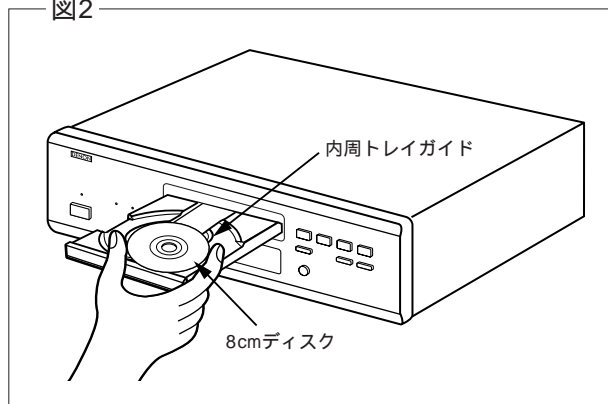
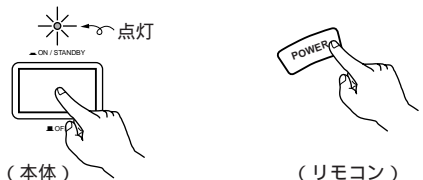
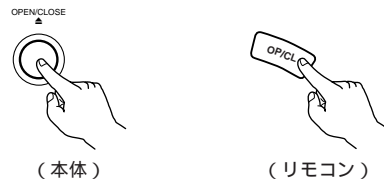
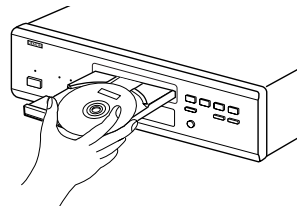
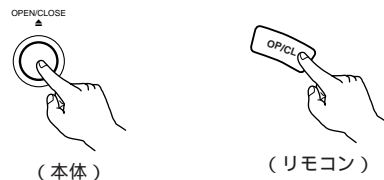
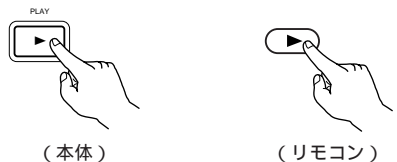
● ディスクトレイの開閉をするときは、必ず電源を入れてください。
● ボタンを鉛筆などで叩いたりしないでください。

(2) ディスクの入れかた

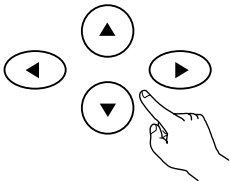
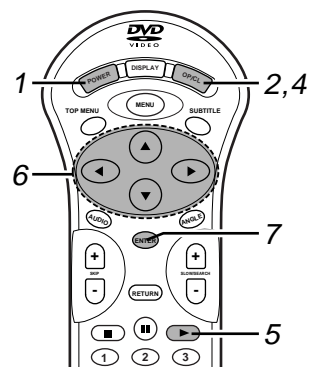
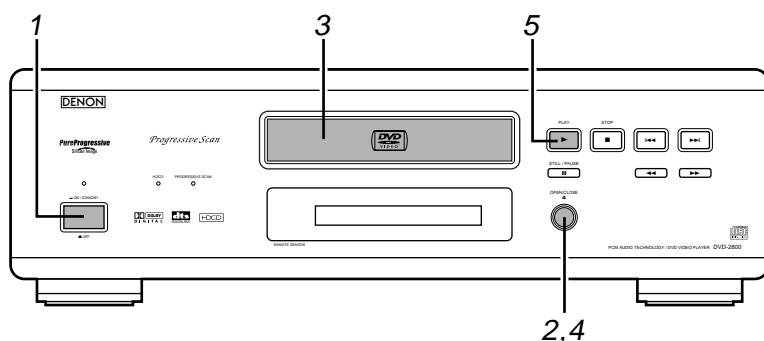
● ディスク情報面に手が触れないように持ち、ディスクトレイに載せてください。
● ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを載せてください。
● 12cmディスクは外周トレイガイド（図1）に合わせ、8cmディスクは内周トレイガイド（図2）に合わせて水平に載せてください。
● OPEN/CLOSEボタンを押すと、ディスクは自動的に装着されます。
● ディスクトレイは、再生ボタン（▶ PLAY）を押しても自動的に閉まり、ディスクを装着することができます。

図1

図2

ご注意

● 万一、指などを挟んだ場合は、あわてずにOPEN/CLOSEボタンを押してください。
● 電源が切られている状態でディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。
● ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因となります。

12 再生のしかた

再生をはじめる前に（本機の初期設定について）
本機の『初期設定』をお客様のご使用に合わせて変更する場合は38～48ページの『初期設定の変更のしかた』をご覧ください。

(1) 再生のしかた

1	**電源を入れます。** ● 本体の**電源ボタン**を押すと、電源表示インジケーターが点灯し、電源が入ります。 ● スタンバイ中の場合には、リモコンの**POWERボタン**を押します。	点灯 （本体） （リモコン）
2	**OPEN/CLOSEボタンを押します。** ● ディスクトレイが開きます。	（本体） （リモコン）
3	**ディスクトレイにディスクを載せます。**	
4	**OPEN/CLOSEボタンを押します。** ● ディスクトレイが閉まり、ディスクが本機に装着されます。	（本体） （リモコン）
5	**PLAYボタンを押します。** ● インタラクティブなDVDやプレイバックコントロール付きビデオCDの多くのものは、メニュー画面が表示されます。このような場合、手順***6***で見たい項目を選び再生をはじめてください。 **インタラクティブなDVD**とは 例えば複数のアングルや、ストーリーなどが収録されたDVDソフトです。	（本体） （リモコン） 【例】メニュー記録されたDVDのとき TOP MENU りんご バナナ みかん いちご もも パイナップル 【例】プレイバックコントロール付きビデオCDのとき 1. オープニング 2. 第一楽章 3. 第二楽章 4. 第三楽章 5. エンディング

（次のページに続きます）

再生のしかた（つづき）

6

リモコンのカーソルボタン（▲,▼,◀,▶）を押し、見たい項目を選びます。

● ディスクによって異なりますが、**▶▶Iボタン**を押すとメニューの続きがある場合、続きのメニューを表示します。（ディスクのジャケットを参照ください。）

※ **ビデオCDのときは、カーソルボタン（▲,▼,◀,▶）が使えません。**番号ボタンで見たい項目を選んでください。

（リモコン）

7

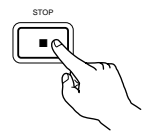
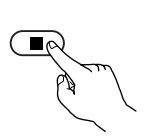
リモコンのENTERボタンを押します。

● 見たい項目が決定され、再生がはじまります。
● ディスクによっても異なりますが、DVD再生中は**TOP MENU/MENUボタン**を押すとメニュー画面に戻すことができます。
● ビデオCD再生中は**RETURNボタン**を押すとメニュー画面に戻すことができます。

（リモコン）

【例】DVD“りんご”を選んだとき

ご注意

● ボタン操作中、テレビ画面に✋が表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止しています。
● ディスクはガイドに合わせて置いてください。
● トレイには2枚以上のディスクをのせないでください。
● テレビ画面にメニューが出ている間は、ディスクは回り続けています。

（2）再生の止めかた

1

再生中にSTOPボタンを押します。

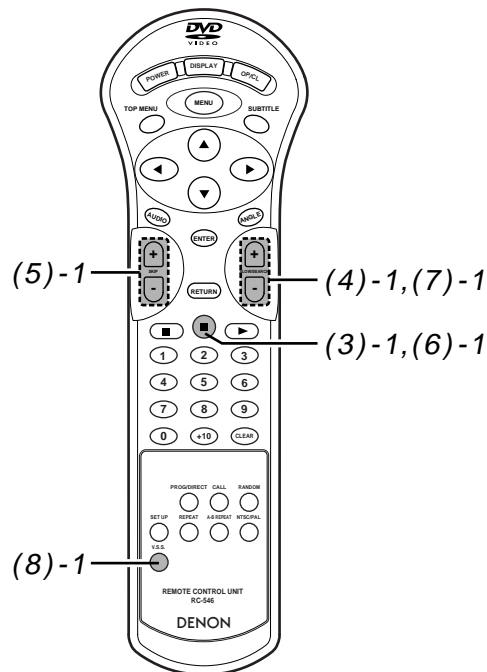
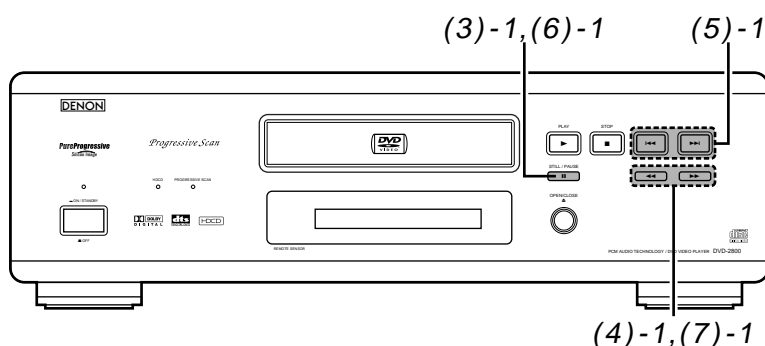
● 再生が止まり、壁紙が表示されます。
● 停止状態で30分経過すると自動的に本機の電源が切れ、スタンバイ状態になります。（オートパワーオフ）

■ 続き再生メモリー機能について(DVDのみ)

● 再生中に**STOPボタン**を押すと止めた位置を記憶します。（この時、ディスプレイの“▶”が点滅します。）**PLAYボタン**を押すと、止めたところから再生がはじまります。トレイを開けるか、もう一度**STOPボタン**を押すと続き再生メモリー機能は解除されます。
● 続けて演奏しないときは、節電のため本体の**電源ボタン**を押して電源を切るか、リモコンの**POWERボタン**を押してスタンバイ状態にしてください。

（本体）　（リモコン）

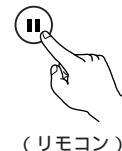
※続き再生メモリー機能は、再生中に表示窓に経過時間が表示されるディスクで働きます。

再生のしかた（つづき）

(3) 静止（一時停止）のしかた

1

再生中にSTILL/PAUSEボタンを押します。

● **PLAYボタン**を押すと通常の再生に戻ります。

（本体）　（リモコン）

(4) 早送り/早戻しのしかた

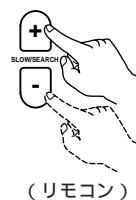
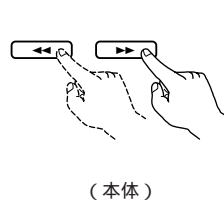
1

再生中にSLOW/SEARCHボタンを押します。

［◀◀/－：戻し方向、▶▶/＋：送り方向］

● 押すたびに、早送り/早戻しが速くなります。（4段階）

● **PLAYボタン**を押すと通常の再生に戻ります。

（本体）　（リモコン）

ご注意

● ビデオCDのメニュー再生中、**SLOW/SEARCHボタン**を押すとメニュー画面に戻ることがあります。

(5) 頭出しのしかた

1

再生中にSKIPボタンを押します。

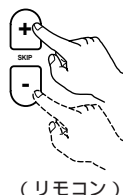
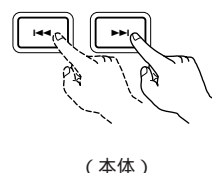
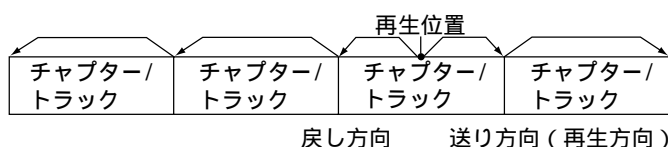
［I◀◀/－：戻し方向（リバース）、▶▶I/＋：送り方向（フォワード）］

● 押した回数だけチャプター/トラックを飛び越します。

● 戻し方向に1回押すと再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。

再生位置

チャプター/トラック	チャプター/トラック	チャプター/トラック	チャプター/トラック

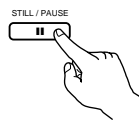
戻し方向← →送り方向（再生方向）

（本体）　（リモコン）

ご注意

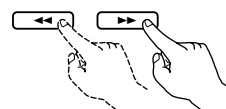
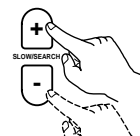
● ビデオCDのメニュー再生中、**SKIPボタン**を押すとメニュー画面に戻ることがあります。

再生のしかた（つづき）

（6）コマ送り再生のしかた（DVD/ビデオCD のみ）

1 **静止中にSTILL/PAUSEボタンを押します。**
- 押すたびに、1コマずつ再生します。
- **PLAYボタン**を押すと通常の再生に戻ります。

（本体）　（リモコン）

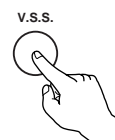
（7）スロー再生のしかた（DVD/ビデオCD のみ）

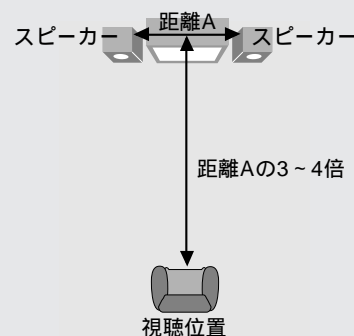
1 **静止中にSLOW/SEARCHボタンを押します。**
［◀◀/－：戻し方向、▶▶/＋：送り方向］
- 押すたびに、スロー再生の速度が速くなります。（4段階）
- ビデオCDの場合は3段階になります。
- **PLAYボタン**を押すと通常の再生に戻ります。

（本体）　（リモコン）

ご注意
- スロー再生の速度が画面の表示と合わないことがあります。
- ビデオCDは逆スロー再生できません。

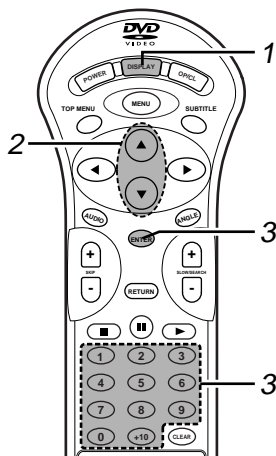
（8）V.S.S.（バーチャルサラウンドサウンド）機能の楽しみかた（DVDのみ）

★ V.S.S.（バーチャルサラウンドサウンド）機能を使うと音に広がりを与え、フロントスピーカー（L/R）だけでサラウンド効果を楽しむことができます。サラウンド信号があるディスクの場合は、音に広がりが出るほか、スピーカーが存在しない横方向からあたかも音が出ているように聞こえます。

1 **再生中にリモコンのV.S.S.ボタンを押します。**

（リモコン）

ご注意
- ドルビーデジタル2ch以上で収録されたDVDソフトでのみ働きます。
- ディスクによっては効果が出にくいものや、出ないものがあります。
- ディスクによっては音声がひずむことがあります。その場合はV.S.S.を解除してください。
- 他のサラウンド機能（テレビのサラウンドなど）は『切』にしてお使いください。
- 視聴位置（テレビからの距離）は、左右のスピーカー（距離A）の3～4倍の距離が効果的です。

13 ON-SCREEN画面を使って操作する

★ ディスクに関する情報（タイトル/チャプター/時間）を表示したり、その内容を変更することができます。

1

再生中にDISPLAYボタンを押します。
- ON-SCREEN画面が表示されます。
- 押すたびにテレビ画面の表示が切り替わります。
- 表示される項目はディスクにより異なります。

DISPLAY
（リモコン）

【例】DVDの場合（通常の再生画面）

タイトル	01/05
チャプター	02/08
タイトルタイム	0:26:11
画質調整	標準

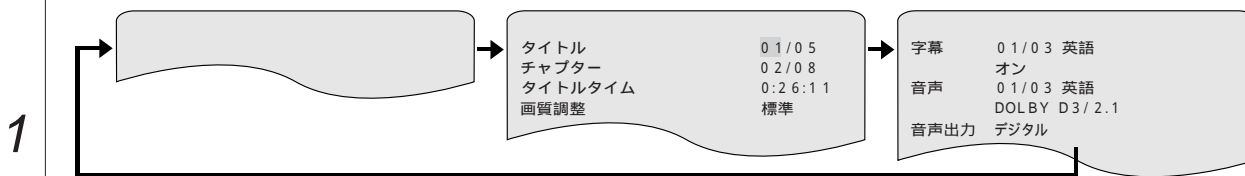
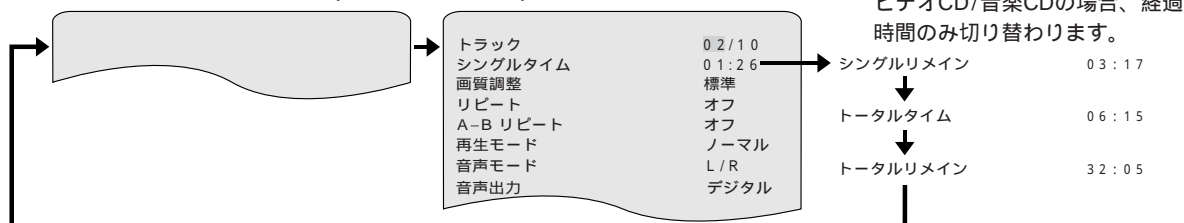
字幕	01/03 英語
	オン
音声	01/03 英語
	DOLBY D3/2.1
音声出力	デジタル

【例】ビデオCD/音楽CDの場合（通常の再生画面）

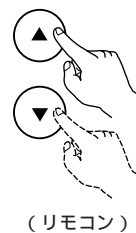
トラック	02/10
シングルタイム	01:26
画質調整	標準
リピート	オフ
A–B リピート	オフ
再生モード	ノーマル
音声モード	L/R
音声出力	デジタル

※ビデオCD/音楽CDの場合、経過時間のみ切り替わります。

シングルリメイン	03:17
トータルタイム	06:15
トータルリメイン	32:05

2

カーソルボタン（▲,▼）で変更する項目を選びます。
- 選ばれた項目は黄色の枠で表示されます。
- DVDの場合
  タイトル、チャプター、タイトルタイム（経過時間）、画質調整（27ページ参照）を選ぶことができます。
- ビデオCD/音楽CDの場合
  トラック、画質調整を選ぶことができます。

（リモコン）

3

番号ボタンで内容を変更します。

①経過時間の変更
　番号ボタンで入力し、**ENTERボタン**を押します。
　【例】1分26秒の場合→『00126』

②タイトル、トラック、チャプターの変更
- DVDの場合
  番号ボタンで変更し、**ENTERボタン**を押します。
  （ディスクによっては、タイトル、チャプターなどの変更ができない場合があります。）
- ビデオCD/音楽CDの場合
  番号ボタンで入力すると、そのトラックから再生をはじめます。（ダイレクト選曲）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 +10
（リモコン）

14 画質調整のしかた

1

再生中にDISPLAYボタンを押してON-SCREEN画面を表示させ、カーソルボタン（▲,▼）で『画質調整』を選び、ENTERボタンを押します。

2

カーソルボタン（▲,▼）でメモリーを選び、ENTERボタンを押します。

● 画質調整画面が表示されます。

◎ **標準**
画質、機能とも工場出荷時の設定に戻ります。

◎ **メモリー1〜5**
好みで調整した画質設定をメモリー1〜5までの5種類記憶させることができます。

3

カーソルボタン（▲,▼）で調整したい項目を選び、ENTERボタンを押します。

● コントラスト・ブライトネス・シャープネス・色あい・ガンマ・黒レベルが調整できます。

◎ **コントラスト**（－6〜＋6）
映像の明暗の差を調整します。

◎ **ブライトネス**（0〜＋12）
映像の明るさを調整します。

◎ **シャープネス**（－6〜＋6）
映像の輪郭を強調します。

◎ **色あい**（－6〜＋6）
緑色と赤色のバランスを調整します。
（プログレッシブスキャン出力では効果がありません。）

◎ **ガンマ**（－6〜＋6）
映像の暗い部分が埋もれたり、明るい部分が必要以上に明るすぎたりしたときに選択します。（インターレース出力では効果がありません。）

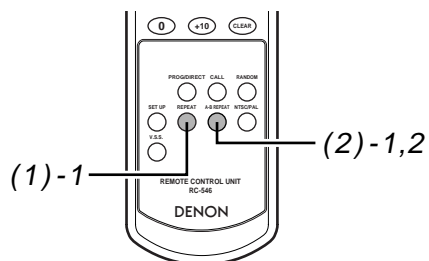
◎ **黒レベル <工場出荷時：暗い>**
映像の黒レベルの『明るい』『暗い』を選びます。
『明るい』：映像の黒レベルは明るい方が選ばれています。
映像出力端子（VIDEO OUT）かS映像出力端子（S-VIDEO OUT）でテレビに接続されている場合は、通常この設定でお使いください。
『暗い』：映像の黒レベルは暗い方が選ばれています。
色差映像出力端子（COMPONENT VIDEO OUT）でテレビに接続されている場合は、通常この設定でお使いください。

4

カーソルボタン（▲,▼,◄,►）で画質調整項目を選び、レベルを調整してENTERボタンを押します。

● 調整した内容がすべて記憶されます。

15 くり返し再生する

★ お気に入りの映像や音声をくり返して再生することができます。

ご注意

- リピート再生が働かないDVDもあります。
- 再生中ディスプレイに再生経過時間が表示されないディスクは、リピート再生およびA-Bリピート再生ができないことがあります。
- A-Bリピート再生中は、A-B間の前後の字幕が表示されないことがあります。

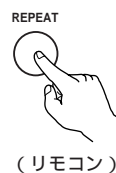
（1）くり返し再生する（リピート再生）

1

再生中にREPEATボタンを押します。

- 押すたびにテレビ画面の表示が切り替わり、それぞれのくり返し再生をはじめます。

REPEAT

（リモコン）

■ DVDの場合

- 通常の再生

↓

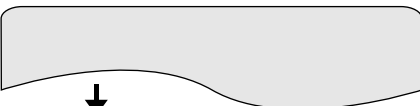
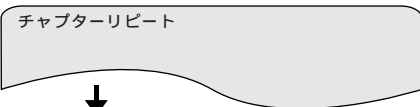
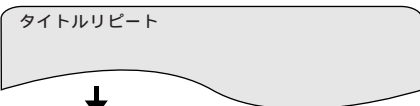
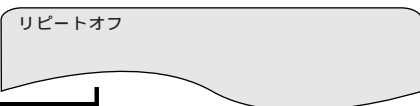
- チャプターをくり返す

チャプターリピート

↓

- タイトルをくり返す

タイトルリピート

↓

- リピート再生終了

リピートオフ

■ ビデオCDや音楽CDの場合

- 通常の再生

↓

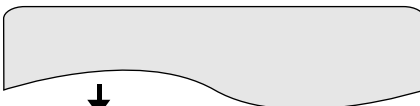
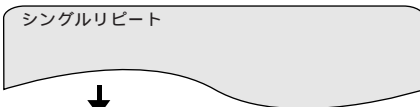
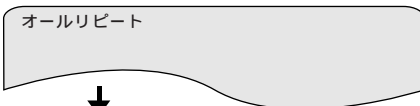
- トラックをくり返す

シングルリピート

↓

- ディスク全体をくり返す

オールリピート

↓

- リピート再生終了

リピートオフ

※通常の再生に戻すときは

テレビ画面に " リピートオフ " が表示されるまで**REPEATボタン**を押すと、通常の再生に戻ります。

（2）指定した2点間をくり返し再生する（A-Bリピート再生）

1

再生中にA-B REPEATボタンを押します。

- 開始場所Aが指定されます。

A-B REPEAT

リピート　A ー

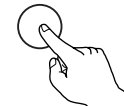
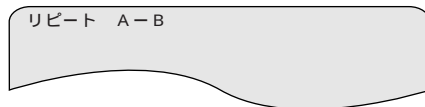
（リモコン）

2

もう一度A-B REPEATボタンを押します。

- 終了場所Bが指定され、A-B間のくり返し再生がはじまります。

A-B REPEAT

リピート　A ー B

（リモコン）

※通常の再生に戻すときは

テレビ画面から " リピートオフ " が表示されるまで**A-B REPEATボタン**を押します。

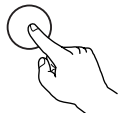
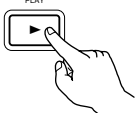
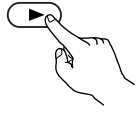
16 好きな順に再生する

★ ビデオCDや音楽CDはトラック番号を予約して好きな順に再生することができます。
★ DVDでは働きません。

1	**停止中にPROGボタンを1回押します。** ● プログラム選択画面が表示されます。	PROG　プログラム　P01:_ _　00:00 （リモコン）
2	**番号ボタンで予約したい番号を選びます。** ● 30曲までプログラムできます。 **【例】トラック5と12をプログラムする場合** 番号ボタンの『5』を押します。 プログラム　P01:05　03:12 ↓ 番号ボタンの『+10』を押します。 プログラム　P02:1_　03:12 ↓ 番号ボタンの『2』を押します。 プログラム　P02:12　06:32	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 +10 （リモコン）
3	**PLAYボタンを押します。** ● 予約した順に再生がはじまります。	PLAY （本体）　（リモコン）

※**通常の再生に戻すには**
STOPボタンを押してプログラム再生を止め、**PROGボタン**を押します。
その後、**PLAYボタン**を押すとディスクの先頭から通常の再生がはじまります。

※**予約を1つずつ取り消すには**
STOPボタンを押してプログラム再生を止めます。その後、**CLEARボタン**を押すたびに最後に予約したものから順に取り消されます。

※**予約をすべて取り消すときは**
電源を切るか、本機からディスクを取り出すとすべて取り消されます。また**STOPボタン**を押してプログラム再生を止め、**PROGボタン**を押すとすべて取り消されます。

※**プログラムされた内容を確認するには**
CALLボタンを押すとプログラムされた内容がステップごとに表示されます。

17 順不同に再生する

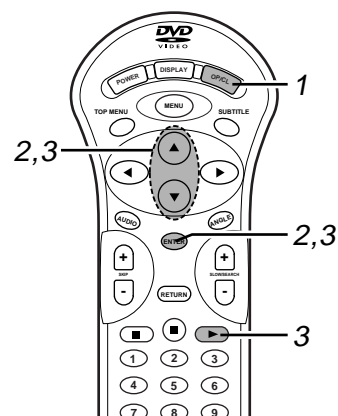
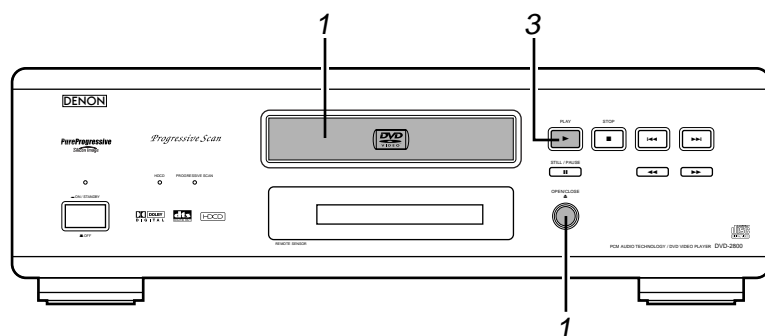
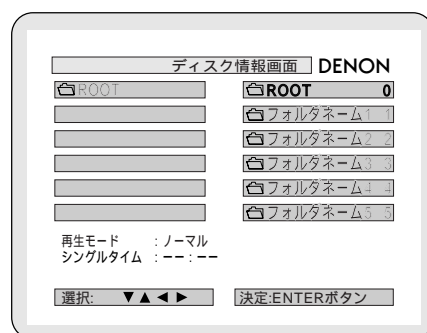
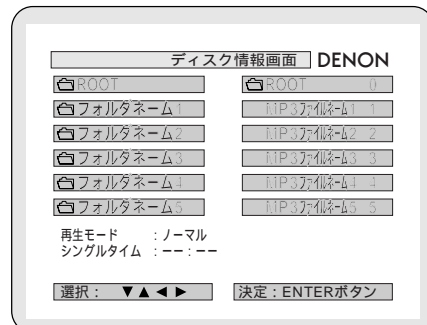
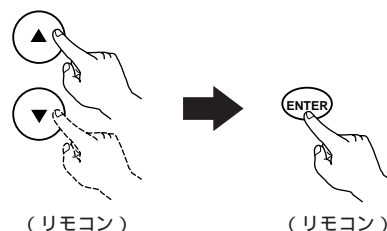
★ ビデオCDや音楽CDはトラック単位で順不同（ランダム）に再生することができます。
★ DVDでは働きません。

1	**停止中にRANDOMボタンを押します。** ● ランダム再生画面が表示されます。 ※ **ディスクによってはランダム再生できない場合があります。**	RANDOM ランダム　オン （リモコン）
2	**PLAYボタンを押します。** ● 順不同に再生がはじまります。	PLAY （本体）　（リモコン）

※通常の再生に戻すときは
STOPボタンを押してランダム再生を止め、**RANDOMボタン**を1回押します。

18 MP-3を再生する

MP3のCD/CD-R/CD-RWを聴くには

★ インターネットのホームページ上には、MP3形式の音楽ファイルをダウンロードできる様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトの指示に従って音楽をダウンロードし、CD-R/RWに書き込めば、本機で再生することができます。
市販の音楽CDに収録された音楽を、パソコン上でMP3エンコーダ（変換ソフト）によりMP3ファイルに変換すれば、12cmCD1枚が約10分の1のデータ量になります。これをCD-R/RWに書き込めば約10枚分の音楽CDがたった1枚のCD-R/RWにMP3ファイルとして書き込むことができます。約100曲以上*の音楽が1枚のCD-R/RWで楽しめます。
＊ 約５分の曲を標準的なビットレート128kbpsでMP3ファイルに変換し、容量650MBのCD-R/RWに書き込んだ場合のおよその値です。

1	**MP3形式の音楽ファイルを書き込んだCD-R/RWを本機にセットします。**（21ページの「ディスクの入れかた」を参照してください。） ● 本体にディスクが装着されるとディスク情報画面が表示されます。 ● 複数のフォルダがある場合は、手順***2***に進みます。 ● ディスクに記録されているフォルダがない場合（MP3ファイルのみ）は、手順***3***に進みます。 ※ディスクに記録されている全てのフォルダが表示されます。（フォルダの階層ごとには表示されません。）	
2	**リモコンのカーソルボタン（▲,▼）で再生したいフォルダを選び、リモコンのENTERボタンを押します。** ※**再生したいフォルダを替えたいときは** リモコンの**カーソルボタン（▲）**で画面右上の“ ROOT ”表示を選び、 リモコンの**ENTERボタン**を押すとディスク情報画面が表示されますので、もう一度フォルダを選び直してください。	

（次のページに続きます）

MP-3を再生する（つづき）

3

リモコンのカーソルボタン（▲,▼）で再生したいMP3ファイルを選び、PLAYボタンまたはリモコンのENTERボタンを押します。

- 再生をはじめます。

※ リモコンの**DISPLAYボタン**を押すと、1曲経過時間（シングルタイム）と1曲残り時間（シングルリメイン）を切り替え表示することができます。

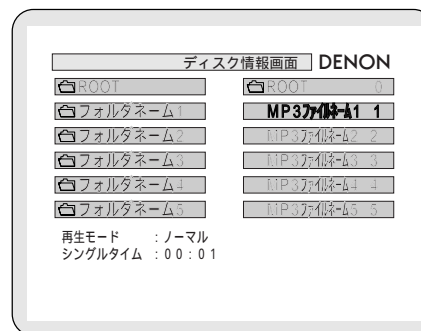
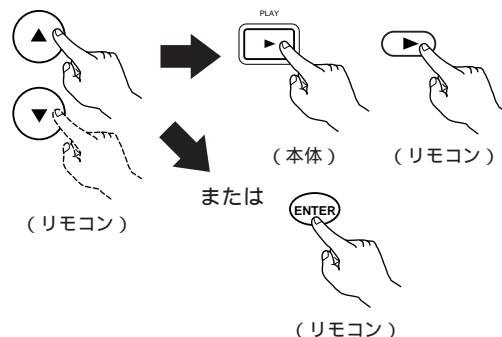
※ **MP3のディスクではプログラム再生ができません。**

※ **再生したいMP3ファイルを替えたいときは**
STOPボタンを押してから、リモコンの**カーソルボタン（▲,▼）**でもう一度選び直してください。

※ **ランダム再生するには**
停止中にリモコンの**RANDOMボタン**を押してから、**PLAYボタン**またはリモコンの**ENTERボタン**を押します。

※ **リピート再生するには**
リモコンの**REPEATボタン**を押します。押すたびにリピートモードが変わります。

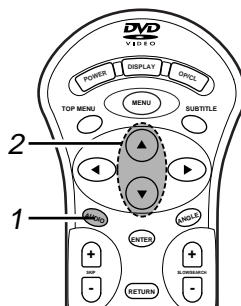
→ ノーマル → シングルリピート → フォルダリピート ─┐（ノーマルへ戻る）

※ **初期のディスク情報画面に戻すときは**
STOPボタンを押して再生を止め、リモコンの**カーソルボタン（▲）**で画面右上の“ ROOT ”表示を選び、リモコンの**ENTERボタン**を押します。（手順***1***のディスク情報画面に戻ります。）

ご注意

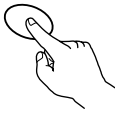
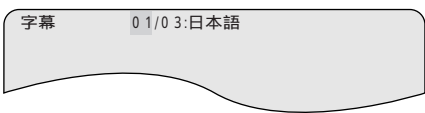
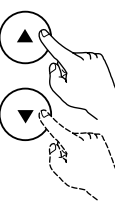
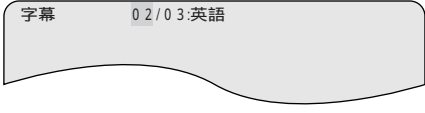
- 本機で対応している規格は『MPEG-1 Audio Layer-3』（サンプリング周波数fsは32、44.1、48kHz）です。それ以外の『MPEG-2 Audio Layer-3』、『MPEG-2.5 Audio Layer-3』およびMP1、MP2などには対応していません。
- ディスク特性、汚れ、傷などによってCD-R/RWが再生できない場合があります。
- MP3を再生したときのデジタル出力は、初期設定の音声設定が『ノーマル』『PCM変換』に関わらずMP3をPCMに変換して出力します。また、記録されている音楽ソースのサンプリング周波数で出力します。
- 一般にMP3ファイルはビットレートが高いほど音質が良くなります。本機では128kbps以上のビットレートで記録されたMP3のご使用をお勧めします。
- MP3ファイルの再生順序は、CD-R/RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があるため任意の再生順序とは異なる場合があります。
- MP3のディスクではプログラム再生ができません。
- MP3ファイルをCD-R/RWに書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは『ISO9660レベル1またはレベル2』を選択してください。他のフォーマットで記録された場合、正常に再生できないことがあります。ライティングソフトによっては『ISO9660』フォーマットで記録できないものがあります。『ISO9660』フォーマットのライティングソフトをご使用ください。
- 本機はフォルダネームとファイルネームをタイトルのように表示することが可能です。半角の英数大文字と__（アンダースコア）を11文字まで表示できます。（12文字以上の文字は表示されません。）また、漢字・ひらがな・カタカナ・その他の記号で記録されたフォルダネームとファイルネームは表示されません。
- MP3ファイルには必ず拡張子『.MP3』を付けてください。『.MP3』以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合はファイルを再生できません。（マッキントッシュのパソコンの場合、半角英数大文字8文字以内のファイルネームの最後に拡張子『.MP3』を付けてCD-R/RWに記録することにより、MP3ファイルの再生が可能です。）
- CD/CD-R/RWのレーベル面や記録面にシールやテープなどを貼らないでください。のりなどがディスク表面に付着すると、本機の内部にディスクが残り、取り出せなくなる恐れがあります。
- パケットライトソフトには対応していません。
- ID3-Tagには対応していません。
- プレイリストには対応していません。

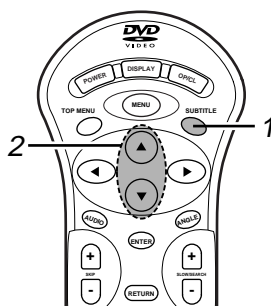
19 マルチ機能の使いかた

音声言語を切り替える（マルチ音声機能）

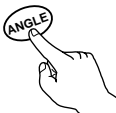
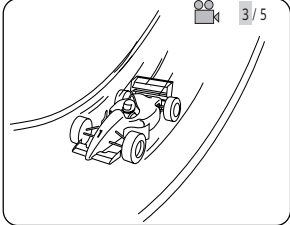
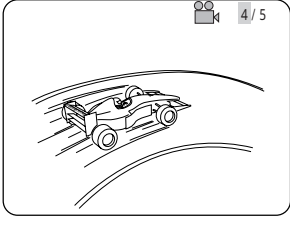
★ 複数の音声言語が記録されているDVDは、再生中に音声言語を切り替えることができます。

1	**再生中にAUDIOボタンを押します。** ● 現在再生中の音声番号が表示されます。	（リモコン）
2	**カーソルボタン（▲,▼）でお好みの言語にします。** ● **AUDIOボタン**を押すと表示が消えます。	（リモコン）

ご注意

- ディスクによっては再生中に音声言語を切り替えられない場合があります。この場合にはDVDメニューで選んでください。（37ページ参照）
- **カーソルボタン（▲,▼）**を数回押しても希望の言語にならないときは、その言語がディスクに記録されていません。
- 電源投入時およびディスク交換時は、初期設定（39ページ参照）で設定されている言語になります。

字幕言語を切り替える（マルチ字幕機能）

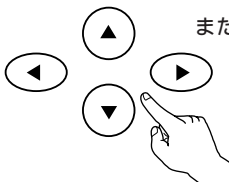
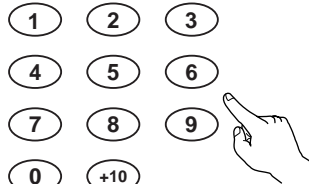
★ 複数の字幕言語が記録されているDVDは、再生中に字幕言語を切り替えることができます。

1	**再生中にSUBTITLEボタンを押します。**	SUBTITLE （リモコン） 字幕　01/03:日本語
2	**カーソルボタン（▲,▼）でお好みの字幕言語にします。** ● **SUBTITLEボタン**を押すと表示が消えます。	（リモコン） 字幕　02/03:英語

ご注意

- **カーソルボタン（▲,▼）**を数回押しても希望の字幕言語にならないときは、その言語がディスクに記録されていません。
- 電源投入時およびディスク交換時は、初期設定（40ページ参照）で設定されている字幕言語になります。なお、その言語がディスクにないときはディスクで決められている言語になります。
- 字幕言語を変更してからその言語が表示されるまでに多少時間がかかる場合があります。

アングル（角度）を切り替える（マルチアングル機能）

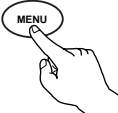
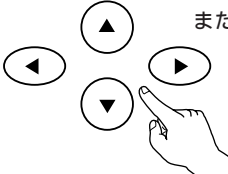
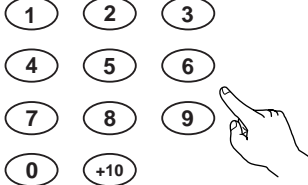
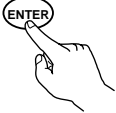
★ 複数のアングルが記録されているDVDは、再生中にアングルを切り替えることができます。

1	**再生中にANGLEボタンを押します。** ● 現在再生中のアングル番号が表示されます。	ANGLE （リモコン） 3/5
2	**カーソルボタン（▲,▼）または番号ボタンでお好みのアングルにします。** ● **ANGLEボタン**を押すと表示が消えます。	▲ ▼ （リモコン） または 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 +10 （リモコン） 4/5

ご注意

- マルチアングル機能は複数のアングルが記録されているディスクで働きます。
- 複数のアングルが記録されている場面でアングルを切り替えることができます。

メニューの使いかた

トップメニューを使う

★ 複数のタイトルが入っているDVDは、トップメニューからお好みのタイトルを選び再生することができます。

1	**再生中にTOP MENUボタンを押します。** ● トップメニューが表示されます。	TOP MENU （リモコン） 【例】 TOP MENU りんご　バナナ みかん　りんご もも　パイナップル
2	**カーソルボタンまたは番号ボタンでお好みのタイトルを選びます。** ● **番号ボタン**で選んだとき手順*3*は不要です。	または （リモコン）　（リモコン） 【例】『みかん』を選んだ場合 TOP MENU りんご　バナナ みかん　イチゴ もも　パイナップル
3	**ENTERボタンを押します。** ● 再生がはじまります。 ● **PLAYボタン**を押しても、再生がはじまります。	ENTER （リモコン）

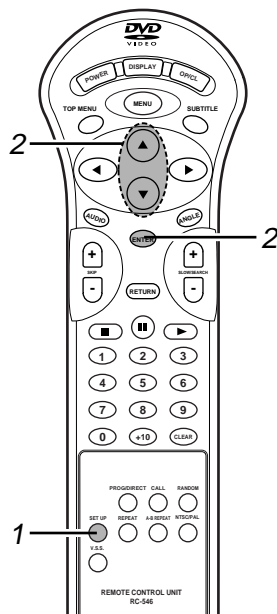
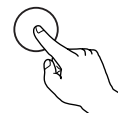
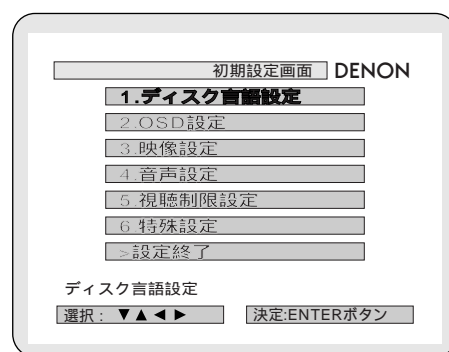
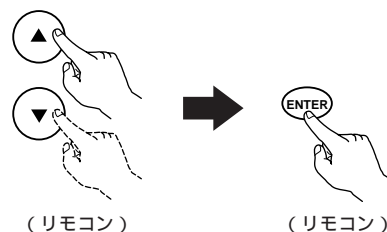
メニューの使いかた（つづき）

DVDメニューを使う

★ DVDによっては、DVDメニューと呼ばれる特別なメニューが用意されているものがあります。
例えば、複雑な内容で編集されたDVDではガイドメニューが用意されていたり、多言語で収録されたDVDでは音声や字幕の言語メニューが用意されていたりします。これらのメニューを『**DVDメニュー**』と呼びます。本書では、DVDメニューの一般的な操作方法を紹介します。

1	**再生中にMENUボタンを押します。** ● DVDメニューが表示されます。	MENU （リモコン） 【例】 DVD MENU 1. 字幕 2. 音声 3. アングル
2	**カーソルボタンまたは番号ボタンで項目を選びます。** ● **番号ボタン**で選んだとき手順***3***は不要です。	（リモコン） または 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 +10 （リモコン） 【例】『音声』を選んだ場合 DVD MENU 1. 字幕 2. 音声 3. アングル
3	**ENTERボタンを押します。** ● 選んだ項目が決定されます。 ● 次々とメニューを表示するときは、手順***2,3***をくり返します。	ENTER （リモコン）

21 初期設定の変更のしかた

★ 工場出荷時にあらかじめ設定されている初期設定を変更することができます。
初期設定は電源を切っても次に変更するまで保持されます。

1	**停止中にSET UPボタンを押します。** ● 初期設定画面が表示されます。 **1.ディスク言語設定** ディスクに準備されている各種言語が設定できます。設定した言語がディスクに複数ないときは、ディスクで決められている言語が選ばれます。 **2.OSD設定** 初期設定画面の言語やTV画面に表示される “ プレイ ” などの言語を設定できます。 **3.映像設定** ご使用されるテレビに応じて画面モードを設定します。（TVアスペクト、TVタイプ） **4.音声設定** 本機の音声出力モードを設定します。 **5.視聴制限設定** お子様などに見せたくない成人向けDVDの再生が制限できます。ただし、成人向けDVDでもディスクに視聴制限レベルが記録されていない場合は視聴制限はできません。また、すべてのDVDの再生を禁止することもできます。 **6.特殊設定** クローズド・キャプションや音声のダイナミックレンジ圧縮の設定ができます。	 （リモコン）
2	**カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、ENTERボタンを押します。** ●**「1. ディスク言語設定」**を選択（39、40ページ参照） ●**「2. OSD設定」**を選択（41ページ参照） ●**「3. 映像設定」**を選択（42、43ページ参照） ●**「4. 音声設定」**を選択（44、45ページ参照） ●**「5. 視聴制限設定」**を選択（45、46ページ参照） ●**「6. 特殊設定」**を選択（47、48ページ参照）	 （リモコン）　（リモコン）

※ **初期設定を終了するときは**
カーソルボタン（▲,▼）で『設定終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**SET UPボタン**を押します。

初期設定の変更のしかた（つづき）

『1. ディスク言語設定』を選んだとき

1
2

38ページをお読みください。

3

カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、ENTERボタンを押します。

1.音声言語
スピーカーから出力される音声言語を設定できます。

2.字幕言語
ＴＶに表示される字幕言語を設定できます。

3.メニュー言語
トップメニュー（ディスクに記録されているメニュー）などの画面言語を設定できます。

※『ディスク言語設定』を終了するときは
カーソルボタン（▲,▼）で『終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**RETURNボタン**を押します。（手順***1***の初期設定画面に戻ります。）

4

カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、ENTERボタンを押します。

■『1.音声言語』を選んだとき

◎**英語**
英語の音声で再生されます。
◎**フランス語**
フランス語の音声で再生されます。
◎**スペイン語**
スペイン語の音声で再生されます。
◎**ドイツ語**
ドイツ語の音声で再生されます。
◎**中国語**
中国語の音声で再生されます。
◎**日本語 <工場出荷時>**
日本語の音声で再生されます。

※『音声言語設定』を終了するときは
カーソルボタン（▲,▼）で『ディスク言語設定に戻る』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**RETURNボタン**を押します。

（次のページに続きます）

初期設定の変更のしかた（つづき）

4 つづき

■『2.字幕言語』を選んだとき

◎**英語**
英語の字幕が表示されます。
◎**フランス語**
フランス語の字幕が表示されます。
◎**スペイン語**
スペイン語の字幕が表示されます。
◎**ドイツ語**
ドイツ語の字幕が表示されます。
◎**中国語**
中国語の字幕が表示されます。
◎**日本語 <工場出荷時>**
日本語の字幕が表示されます。
◎**字幕なし**
字幕を表示させないときに選びます。ディスクによっては字幕表示を消すことができない場合があります。

※『字幕言語』を終了するときは
カーソルボタン（▲,▼）で『ディスク言語設定に戻る』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**RETURNボタン**を押します。

■『3.メニュー言語』を選んだとき

◎**英語**
英語のメニュー画面が表示されます。
◎**フランス語**
フランス語のメニュー画面が表示されます。
◎**スペイン語**
スペイン語のメニュー画面が表示されます。
◎**ドイツ語**
ドイツ語のメニュー画面が表示されます。
◎**中国語**
中国語のメニュー画面が表示されます。
◎**日本語 <工場出荷時>**
日本語のメニュー画面が表示されます。

※『メニュー言語』を終了するときは
カーソルボタン（▲,▼）で『ディスク言語設定に戻る』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**RETURNボタン**を押します。

『2. OSD設定』を選んだとき

1
2

38ページをお読みください。

3

カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、ENTERボタンを押します。

1.OSD言語
初期設定画面の言語やＴＶ画面に表示される“ プレイ ”などの言語を設定できます。

2.壁紙
停止中やCD再生中、ディスプレイに表示する画面を選べます。

※『OSD設定』を終了するときは
カーソルボタン（▲,▼）で『終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**RETURNボタン**を押します。（手順***1***の画面に戻ります。）

4

カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、ENTERボタンを押します。

■『1.OSD言語』を選んだとき

◎**英語**
英語の字幕が表示されます。

◎**日本語 ＜工場出荷時＞**
日本語の字幕が表示されます。

※『OSD言語』を終了するときは
カーソルボタン（▲,▼）で『OSD設定に戻る』を選択し、**ENTERボタン**または**RETURNボタン**を押します。

■『2.壁紙』を選んだとき

◎**ブルー ＜工場出荷時＞**
ディスプレイに表示する画面をブルーバックにしたいときに選びます。

◎**ピクチャー**
ディスプレイに表示する画面を壁紙にしたいときに選びます。

※『壁紙』を終了するときは
カーソルボタン（▲,▼）で『OSD設定に戻る』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**RETURNボタン**を押します。

初期設定の変更のしかた（つづき）

『3. 映像設定』を選んだとき

1 2	**38ページをお読みください。**	
3	**カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、ENTERボタンを押します。** **1.TVアスペクト** ご使用されるテレビの画面サイズに応じて設定できます。 **2.TVタイプ** ご使用されるテレビの映像方式（マルチ、NTSC、PAL）に応じて設定できます。 ● **国内の映像方式はNTSCです。** **3.ビデオ出力** 本機のコンポーネント出力およびD2出力をレンターレースにするか、プログレッシブスキャンにするかの選択ができます。 ※**『映像設定』を終了するときは** **カーソルボタン（▲,▼）**で『終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**RETURNボタン**を押します。（手順***1***の画面に戻ります。）	 （リモコン）　（リモコン） 映像設定 DENON 1.TVアスペクト　4:3 PS 2.TVタイプ　NTSC 3.ビデオ出力　PROGRESSIVE ＞終了 TVアスペクト設定 選択：▼▲◄►　決定：ENTERボタン
4	**カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、ENTERボタンを押します。** **■『1.TVアスペクト』を選んだとき** ◎**4：3 PS ＜工場出荷時＞** 従来のサイズのテレビに接続したときに選びます。ワイド画面で記録されているソフトでは、パン＆スキャン（左右の切れた画面）で再生します。ただしパン＆スキャン指定されていないソフトはレターボックスで再生します。 ◎**4：3 LB** 従来のサイズのテレビに接続したときに選びます。ワイド画面で記録されているソフトではレターボックス（上下に黒い帯のある画面）で再生します。 ◎**ワイド** ワイドテレビに接続したときに選びます。ワイドソフトはフル画面で再生します。 ※**『TVアスペクト』を終了するときは** **カーソルボタン（▲,▼）**で『映像設定に戻る』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**RETURNボタン**を押します。	 （リモコン）　（リモコン） TVアスペクト DENON 1.TVアスペクト　4:3 PS / 4:3 LB / ワイド ＞映像設定に戻る ＞終了 TVアスペクトー－＞4:3 /パン＆スキャン 選択：▼▲◄►　決定：ENTERボタン

（次のページに続きます）

初期設定の変更のしかた（つづき）

4 つづき

■『2.TVタイプ』を選んだとき

◎ **マルチ**
ご使用のテレビがNTSC方式とPAL方式を兼用しているときに選びます。

◎ **NTSC <工場出荷時>**
通常は『NTSC』を選んでください。
（国内で使われているテレビはNTSC方式です。）

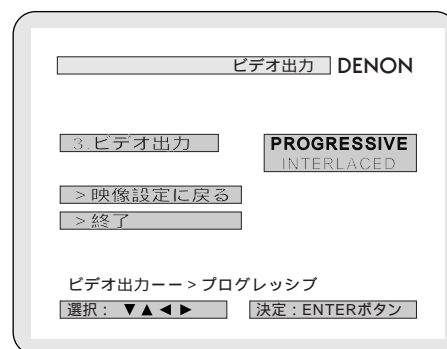
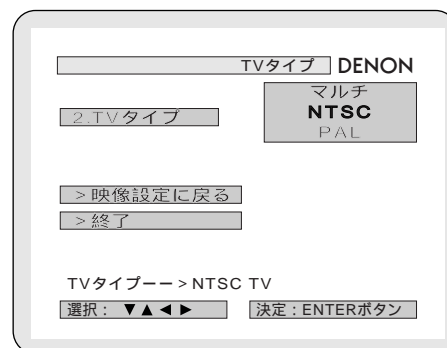
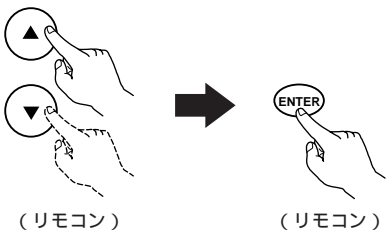
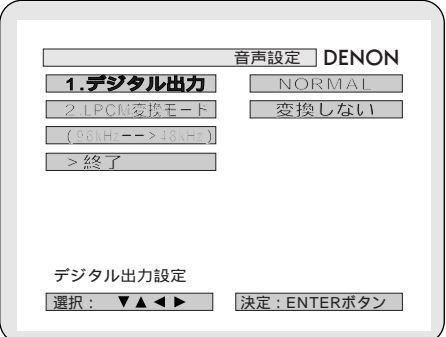
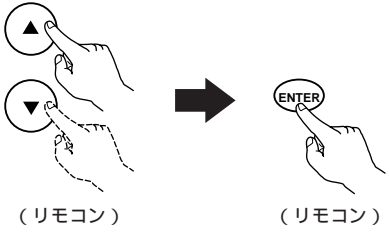
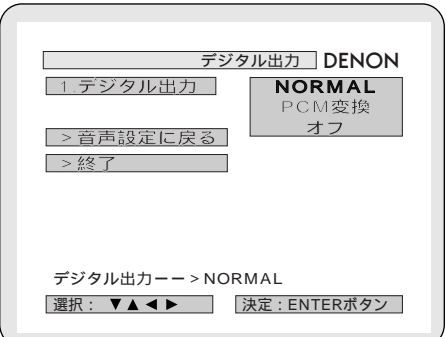
◎ **PAL**
ご使用のテレビがPAL方式のときに選びます。

※『TVタイプ』を終了するときは
カーソルボタン（▲,▼）で『映像設定に戻る』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**RETURNボタン**を押します。

■『3.ビデオ出力』を選んだとき （ご注意）

◎ **PROGRESSIVE <工場出荷時>**
プログレッシブ方式のテレビと接続し、使用される場合に選びます。

◎ **INTERLACED**
インターレース方式のテレビと接続し、使用される場合に選びます。

※『ビデオ出力』を終了するときは
カーソルボタン（▲,▼）で『映像設定に戻る』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**RETURNボタン**を押します。

ご注意

- D端子（D2）および色差映像出力（COMPONENT VIDEO OUT）のみインターレース映像出力とプログレッシブ映像出力を切り替えることができます。
- 映像出力（VIDEO OUT）およびS映像出力（S-VIDEO OUT）に対してプログレッシブ映像出力を設定することはできません。

初期設定の変更のしかた（つづき）

『4. 音声設定』を選んだとき

1
2

38ページをお読みください。

3

カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、ENTERボタンを押します。

1.デジタル出力
デジタル出力の信号形式を選ぶときに使用します。

2.LPCM変換モード
リニアPCM音声で記録されたDVD再生時のデジタル音声出力の設定ができます。

※**『音声設定』を終了するときは**
カーソルボタン（▲,▼）で『終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**RETURNボタン**を押します。（手順***1***の画面に戻ります。）

4

カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、ENTERボタンを押します。

■『1.デジタル出力』を選んだとき

◎**NORMAL ＜工場出荷時＞**
本機のデジタル音声出力端子とドルビーデジタルまたはDTSデコーダー内蔵AVアンプを接続するときに選びます。ドルビーデジタルまたはDTSで記録されたDVDを再生したとき、それぞれのビットストリーム信号を出力します。また、リニアPCMで記録されたディスクを再生したときはリニアPCMで出力します。

◎**PCM変換**
ドルビーデジタルで記録されたDVDを再生したときは、48kHz/16bitのPCM（2ch）に変換して出力します。またリニアPCMで記録されたディスクを再生したときは、リニアPCMで出力します。

◎**オフ**
デジタル音声出力端子からは、デジタル音声データが出力されません。

※**『デジタル出力』を終了するときは**
カーソルボタン（▲,▼）で『音声設定に戻る』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**RETURNボタン**を押します。

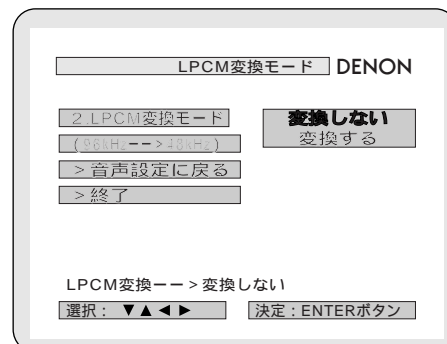
（次のページに続きます）

4 つづき

■『2.LPCM変換モード』を選んだとき

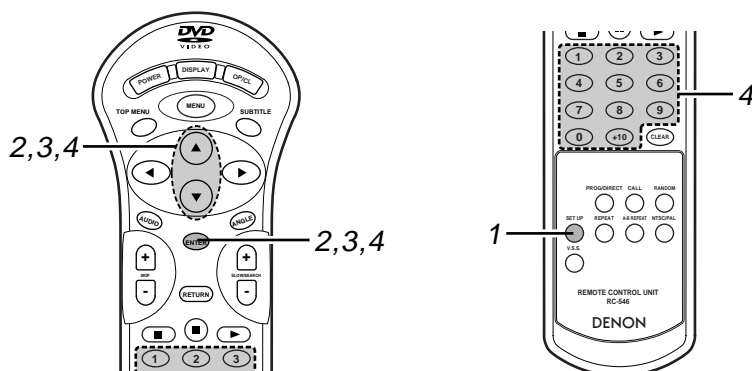
◎**変換しない ＜工場出荷時＞**
48kHz/16bitで記録されたリニアPCM音声のみデジタル出力します。48kHz/20bit/24bit、96kHzのリニアPCM音声で記録されたDVDの再生時はデジタル出力されません。ただし、著作権保護のための処理がされていないDVDの場合にはそのままの音声記録方式で出力されます。

◎**変換する**
48kHz/20bit/24bit、96kHzのリニアPCM音声で記録されたDVDの再生時は、48kHz/16bitに変換しデジタル出力します。（PCM音声のデジタル出力は著作権への配慮から48kHz/16bit以下となります。）

※**『LPCM変換モード』を終了するときは**
カーソルボタン（▲,▼）で『終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**RETURNボタン**を押します。

『5. 視聴制限設定』を選んだとき

1
2

38ページをお読みください。

3

カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、ENTERボタンを押します。

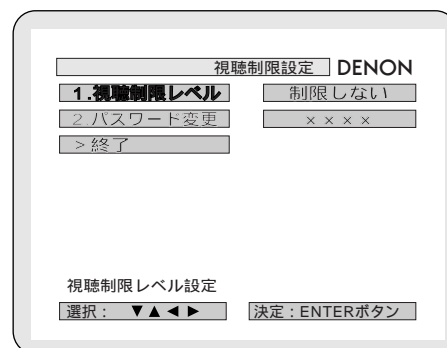
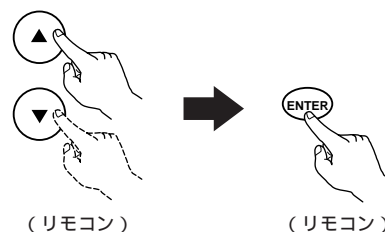
1.視聴制限レベル
お子さまなどに見せたくない成人向けDVDの再生が制限できます。ただし、成人向けDVDでもディスクに視聴制限レベルが記録されていない場合は視聴制限できません。また、すべてのDVDの再生を禁止することもできます。

2.パスワード変更
パスワードの変更をするときに使用します。
パスワードの初期設定は“ 0000 ”です。

※**『視聴制限』を終了するときは**
カーソルボタン（▲,▼）で『終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**RETURNボタン**を押します。（手順***1***の画面に戻ります。）

（次のページに続きます）

初期設定の変更のしかた（つづき）

4

■『1.視聴制限レベル』を選んだとき

① カーソルボタン（▲,▼）で設定するレベルを選び、ENTERボタンを押します。

◎ **レベル0**
すべてのDVDの再生を禁止したいときに選びます。
例えば、視聴制限が記録されていない成人向けDVDの再生を禁止したいときなど。

◎ **レベル1**
子供向けのDVDのみを再生したいときに選びます。
（成人向けと一般向けのDVDの再生を禁止します。）

◎ **レベル2〜レベル8**
一般向けと子供向けのDVDのみを再生したいときに選びます。（成人向けDVDの再生を禁止します。）

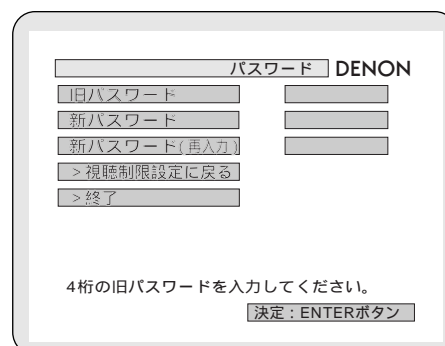
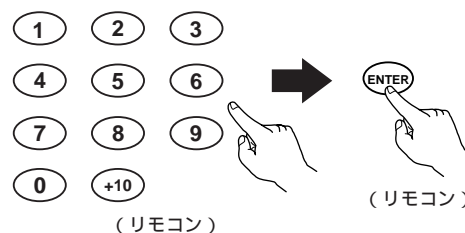
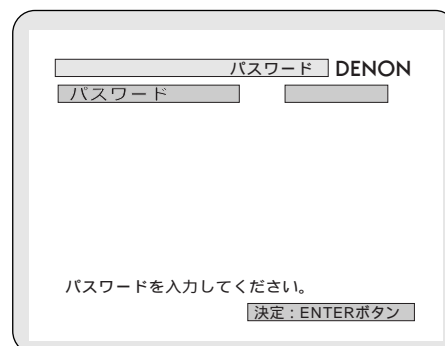
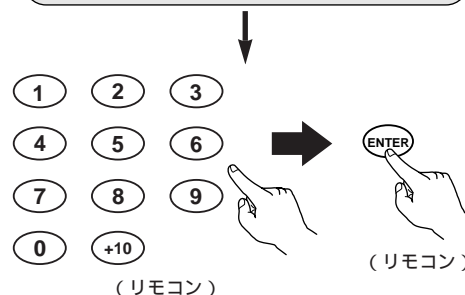
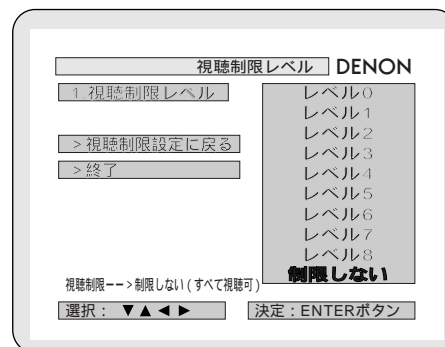
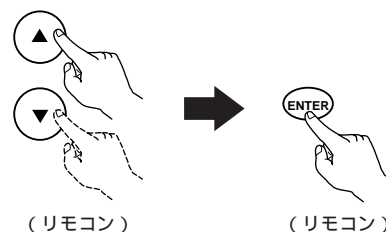
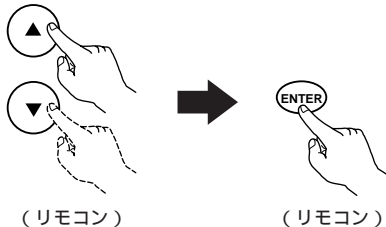
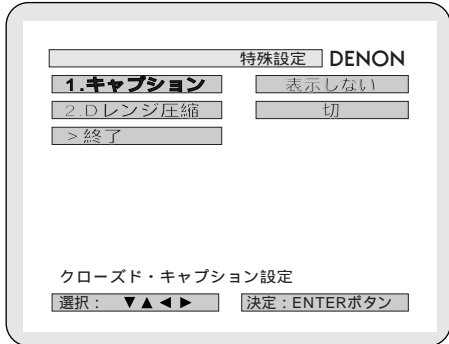
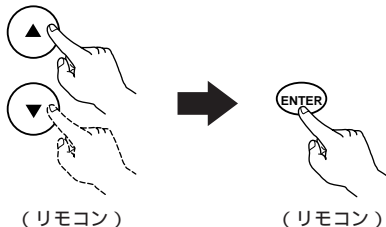
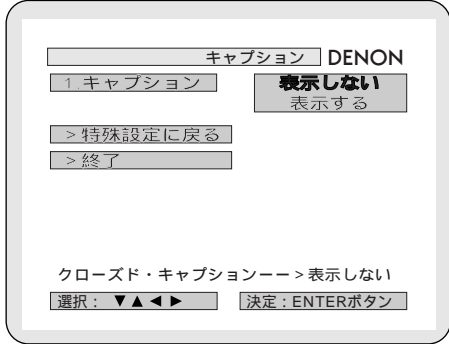
◎ **制限しない ＜工場出荷時＞**
すべてのDVD（成人向け/一般向け/子供向け）を再生したいときに選びます。

② 番号ボタンでパスワード（4桁の数字）を入力し、ENTERボタンを押します。

- パスワードの初期設定は“ 0000 ”です。
- パスワードを変更する場合は、『2.パスワード変更』で新しいパスワードに変更できます。（下記参照）

■『2.パスワード変更』を選んだとき

番号ボタンで前に設定したパスワード（4桁の数字）を入力し、次に新しいパスワードを入力して、再度新しいパスワードを入力後ENTERボタンを押します。

- 本機のパスワードの初期設定は“ 0000 ”です。
- **パスワードは忘れないようにしてください。**
- 正しいパスワードを入力しない限り設定内容を変更できません。

初期設定の変更のしかた（つづき）

『6 特殊設定』を選んだとき

1 2	38ページをお読みください。	
3	**カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、ENTERボタンを押します。** **1.キャプション** DVDに記録されているクローズド・キャプション（字幕）を画面に表示させるか、させないかの設定ができます。（字幕を表示させるにはキャプションデコーダー（市販）が必要です。） **2.Dレンジ圧縮** DVDを再生したときに出力される音のダイナミックレンジが設定できます。 ※**『特殊設定』を終了するときは** **カーソルボタン（▲,▼）**で『終了』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**RETURNボタン**を押します。（手順***1***の画面に戻ります。） **ダイナミックレンジ**とは 機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。	 （リモコン）　（リモコン）
4	**カーソルボタン（▲,▼）で設定する内容を選び、ENTERボタンを押します。** **■『1.キャプション』を選んだとき** ◎**表示しない <工場出荷時>** キャプション（字幕）を画面に表示しないときに選びます。 ◎**表示する** キャプション（字幕）入りDVDを再生し、そのキャプション（字幕）を画面に表示するときに選びます。 ※**『キャプション』を終了するときは** **カーソルボタン（▲,▼）**で『特殊設定に戻る』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**RETURNボタン**を押します。	

（次のページに続きます）

初期設定の変更のしかた（つづき）

4 つづき

■『2.Dレンジ圧縮』を選んだとき

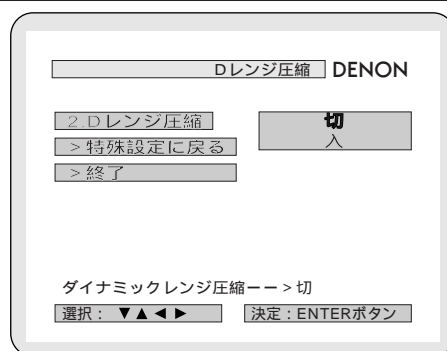
◎**切 <工場出荷時>**

標準的なダイナミックレンジに設定します。

◎**入**

小さい音量でも迫力のある音にしたいときに選びます。深夜など小さい音量で楽しまれる場合に適しています。（ドルビーデジタルで記録されたDVDの再生中に限ります。）

※**『ダイナミックレンジ圧縮』を終了するときは**

カーソルボタン（▲,▼）で『特殊設定に戻る』を選択し**ENTERボタン**を押すか、または**RETURNボタン**を押します。

ご注意

- 字幕信号入りのDVDには 、 、 のマークが表示されています。字幕信号が入っていないDVDでは字幕は出ません。
- 字幕の文字には大文字、小文字、イタリック文字（斜体）などがありDVDによって異なります。本機では選べません。
- 字幕を表示させるには、キャプションデコーダが必要です。

22 故障かな？と思ったら

故障？と思っても、もう一度確かめてみましょう

■ **各接続は正しいですか**
■ **取扱説明書に従って正しく操作していますか**
■ **アンプやスピーカーは正しく動作していますか**

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜きとり、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

現　　象	チェック項目	関連ページ
電源が入らない。	● 電源プラグを電源コンセントへしっかりと差し込んでください。	11～13
再生ボタンを押しても、再生がはじまらない。 または、すぐに停止する。	● 結露していませんか。（1、2時間放置してください。） ● DVD、ビデオCD、音楽CD以外のディスクは再生できません。 ● ディスクが汚れているのできれいに拭いてください。	6 7 10
映像が映らない。	● 接続を確認してください。 ● テレビの入力を『ビデオ』にしてください。	11～15 ー
音が聞こえない。 または、聞きづらい。	● 接続を確認してください。 ● テレビ、ステレオなどの入力を正しく設定してください。 ●『デジタル出力』または『Dレンジ圧縮』の設定を確認してください。	11～15 ー 44、47、48 ー
ビデオCDのメニュー再生ができない。	● プレイバックコントロール付きビデオCD以外は、メニュー再生できません。	22
早送り/早戻しをしたら画像が乱れる。	● 多少乱れが生じることがありますが、故障ではありません。	ー
各ボタン操作ができない。	● ディスクによってはその操作を禁止している場合があります。	23
字幕が出ない。	● 字幕の入っていないDVDは字幕が表示されません。 ● 字幕が『字幕なし』になっていますので、字幕を設定してください。	ー 39、40
音声（または字幕）言語が切り替えられない。	● 複数の言語が入っていないディスクは切り替えられません。 ● 音声（または字幕）切り替え操作では切り替えられず、DVDメニュー画面などで切り替えられるディスクもあります。	ー 37
アングルを変えて見ることができない。	● 複数のアングルが記録されていないDVDは、アングルを切り替えられません。また、複数のアングルは特定の場面のみ記録されているものがあります。	35
タイトルを選んでも再生がはじまらない。	●『視聴制限レベル』の設定を確認してください。	45、46
視聴制限で設定した暗証番号を忘れた。 初期設定のすべての項目を工場出荷時設定に戻す。	● 以下の操作で初期設定の内容を工場出荷時に戻してください。停止状態で、本体の一時停止ボタンとスキップボタン（⏮：戻し方向）を押しながら、OPEN/CLOSEボタンを3秒以上押し続けてください。（テレビ画面の“ 初期化しました ”が消えたことを確認してください。）	ー
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	● DVDにその言語の音声や字幕が入っていないときは選んでいる言語になりません。	39、40
4：3（16：9）の画像で映らない。	● お手持ちのテレビに合わせて『TV アスペクト』の項目を正しく設定してください。	42
希望の言語でメニュー画面のメッセージが出ない。	● 初期設定の『ディスク言語設定』の『メニュー言語』を確認してください。	40
リモコンで操作できない。	● 乾電池は、⊕⊖を確かめて正しく入れてください。 ● 乾電池が消耗していますので、新しい乾電池に交換してください。 ● リモコン受光部に向けて操作してください。 ● リモコン受光部との距離が7m以内のところで操作してください。 ● リモコン受光部との間にある障害物を取り除いてください。	19 19 19 19 19

23 主な仕様

■信号形式	NTSC/PAL
対応ディスク	(1) DVDーVIDEOディスク
	12cm片面1層、12cm片面2層、12cm両面2層（片面1層）、
	8cm片面1層、8cm片面2層、8cm両面2層（片面1層）
	(2) コンパクトディスク（CDーDA、VIDEO CD）
	12cmディスク、8cmディスク
S映像出力	Y出力レベル ：1Vp-p（75Ω） C出力レベル：0.286Vp-p
	出力端子TT ：S端子 1系統
映像出力	出力レベル ：1Vp-p（75Ω） 出力端子：ピンジャック 1系統
コンポーネント出力	Y出力レベル ：1Vp-p（75Ω）
	P_B/C_B出力レベル：0.7Vp-p（75Ω）
	P_R/C_R出力レベル：0.7Vp-p（75Ω）
	出力端子 ：ピンジャック 1系統 ／ D2端子 1系統
アナログ音声出力	出力レベル ：2Vrms 1系統
音声出力特性	(1) 周波数特性
	①DVD（リニアPCM）：2Hz〜22kHz（48kHzサンプリング）
	：2Hz〜44kHz（96kHzサンプリング）
	②CD ：2Hz〜20kHz（EIAJ）
	(2) S/N比
	①DVD ：115dB
	②CD ：115dB（EIAJ）
	(3) 全高調波歪率
	①DVD ：0.0018%
	②CD ：0.0018%（EIAJ）
	(4) ダイナミックレンジ
	①DVD ：108dB
	②CD ：100dB（EIAJ）
デジタル音声出力	出力端子：光出力端子 1系統
	コアキシャル出力端子 1系統
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	18W （スタンバイ時：1.6W）
最大外形寸法	434（幅）×137（高さ）×339（奥行き）mm（突起物を含む）
質量	6.5kg
■	
リモコンユニット	RC-546
リモコン方式	赤外線パルス式
電源	DC3V 単4乾電池2本使用

※（EIAJ）：（社）電子情報技術産業協会（略称JEITA）が制定した規格です。

※ 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。
※ 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※ 本機は国内仕様です。
必ずAC100Vのコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V以外の電源には絶対に接続しないでください。

株式会社デノンコンシューマー マーケティング

本　　社　　〒104-0033 東京都中央区新川1-21-2
茅場町タワー 14F

お客様相談センター　TEL：045-670-5555
【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】
受付時間　9：30～12：00、12：45～17：30
（弊社休日および祝日を除く、月～金曜日）

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の URL でもご確認できます。
http://denon.jp/info/info02.html

後日のために記入しておいてください。

購入店名：	電話（　-　-　）
ご購入年月日：　年　月　日	

Printed in China　00D 511 3738 109A